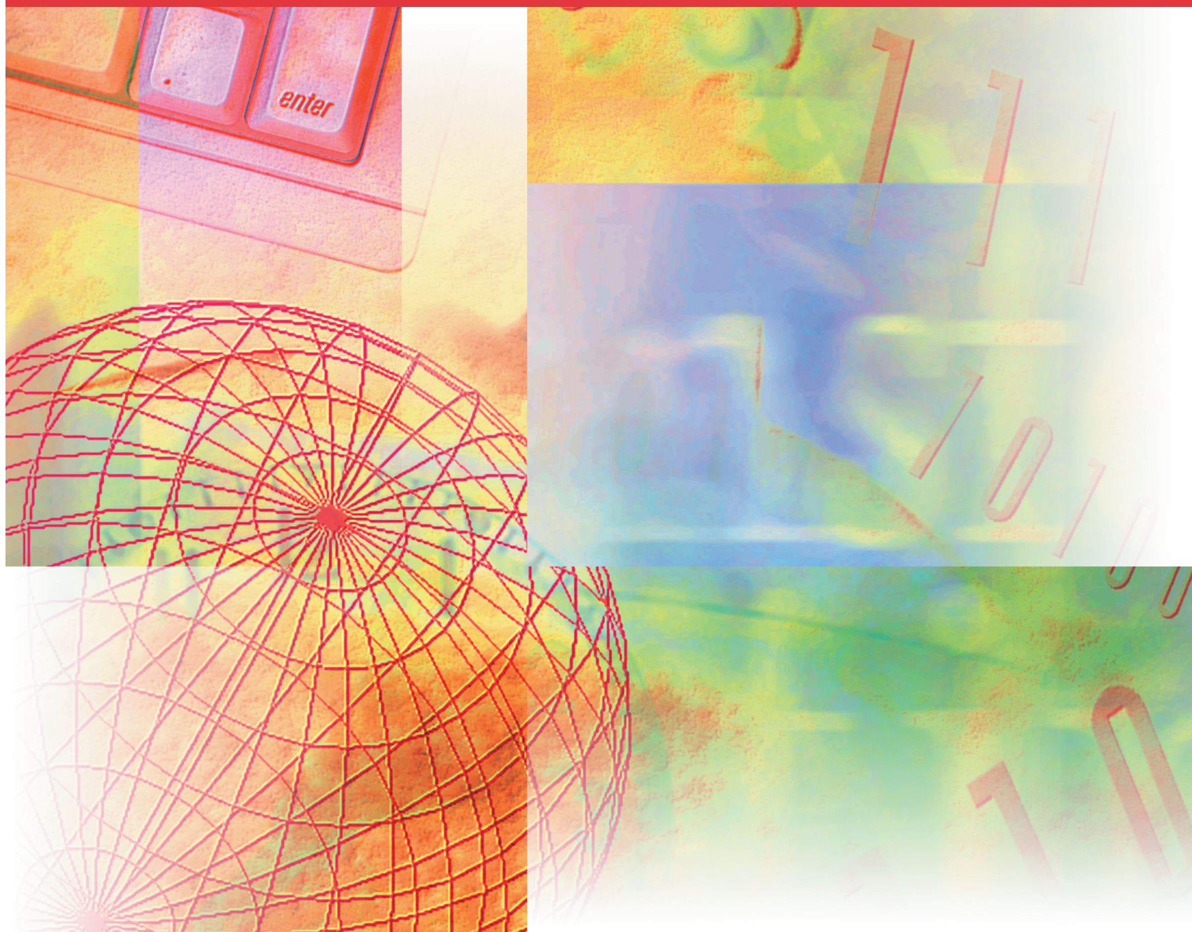
Canon

Color Fax

MultiPASS™ C70

ファクスガイド



ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。
将来いつでも使用できるように大切に保管してください。

JPN

第1章

ご使用の前に

アフターサービスについて

本機は最新の技術を使って、トラブルなどが発生しないよう細心の注意を払って設計されています。何か問題が発生したときは、まず「第8章　困ったときには」を参照してください。それでも問題が解消されないときは、お買い求めの販売店、またはキヤノンお客様相談センター（裏表紙）までお問い合わせください。

操作パネル

ここでは、ファクスを送受信するときに使うボタンについて説明します。

[ON/OFF]ボタン
本機の電源を入れるとき、切るときに使います。

[リカバリ]ボタン
エラーが修正されたあと、ファクスの送受信を再開します。また、ADF内の原稿を自動排紙します。

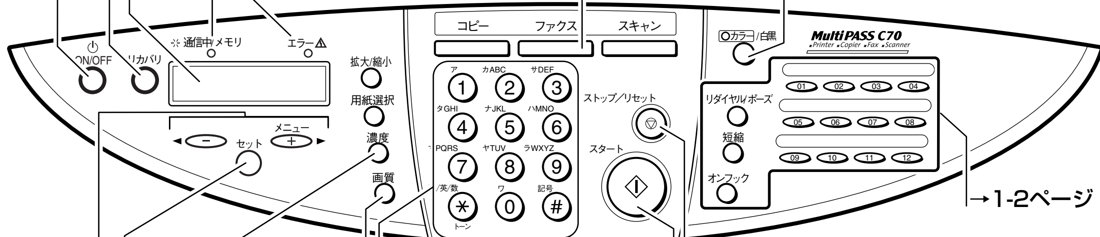
LCDディスプレイ
メッセージや動作状況が表示されます。
設定を行うときは、メニュー、選択項目、文字、数字などが表示されます。

通信中/メモリランプ
電話回線を使用しているときに点滅します。
また、メモリを使用しているときに点灯します。

エラーランプ
エラーが発生したり、記録用紙、インクがなくなったときなどに点滅します。

[ファクス]ボタン
スタンバイ表示をファクスモードに切り替えます。

[カラー/白黒]ボタン
カラー送信または白黒送信を設定します。このボタンを押してランプを点灯させるとファクスをカラーで送信できます。



→1-2ページ

テンキー
ダイヤルするときやファクス/電話番号を登録するときに数字を入力します。
または、名前などを登録するときに文字を入力します。

[ストップ/リセット]ボタン
ファクスの送受信などの操作を取り消して、本機をスタンバイモードに戻します。

[濃度]ボタン
原稿を読み取るときの濃度を設定します。

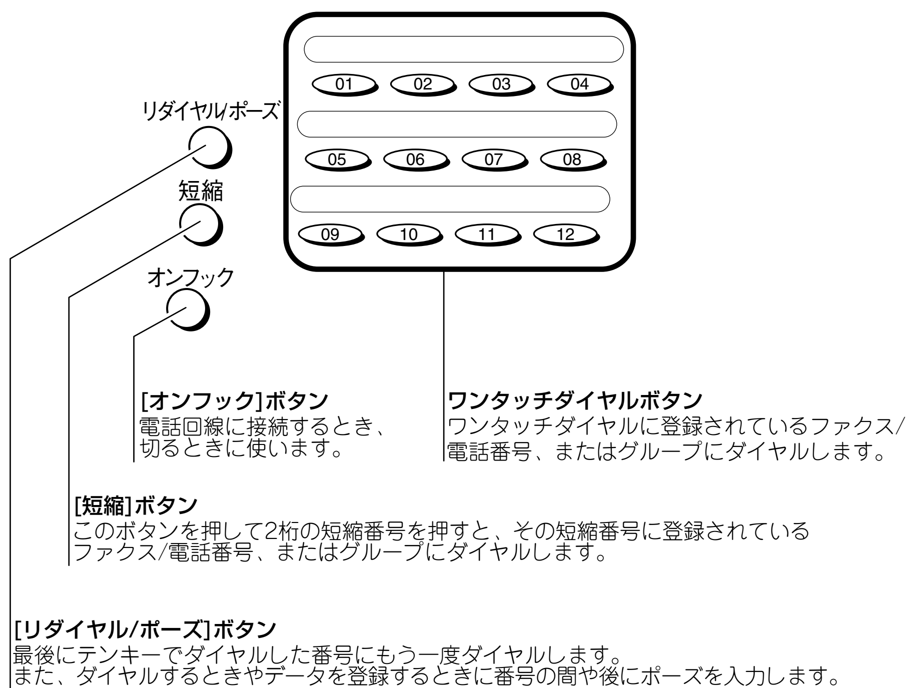
[トーン]ボタン
電話回線をダイヤル回線に設定している場合でも、このボタンを押すとプッシュ回線に接続でき、プッシュホンサービスを利用できます。

[スタート]ボタン
ファクスの送受信を開始します。

[セット]ボタン
メニューの選択、データの登録などを行います。

[画質]ボタン
原稿を読み取るときの解像度を設定します。

[◀（-）]、[▶（+）（メニュー）]ボタン
▶（メニュー）ボタンで、本機のメニューを表示します。◀ボタン、▶ボタンで選択項目をスクロールさせたり、設定範囲を選択できます。
また、文字入力中は、◀ボタンで入力した文字を削除し、▶ボタンでスペースを入力します。



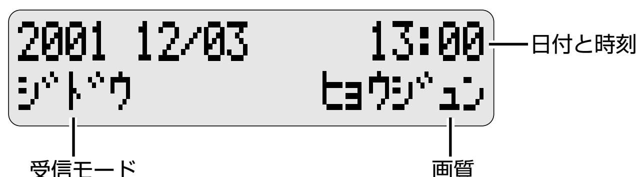
スタンバイ表示

スタンバイ表示は、どのモードが選ばれているかにより表示が異なります。電源を入れたときは、コピーモードが選ばれています。**ファクス**ボタンを押すと、ファクスモードに切り替わります。
ファクスモードのスタンバイ表示は、次のとおりです。



- コピーモードとスキャンモードのスタンバイ表示については、「ユーザーズガイド」を参照してください。

■ ファクスモード



第2章

基本的な設定

本機の設定方法

本機では、発信元情報の登録などの基本設定や送受信方法、スピードダイヤル、印刷設定、システム管理上の設定など、お好みに応じて詳細な設定を行うことができます。本機の設定をするには、次の2つの方法があります。

■ 操作パネルを使う方法

操作パネルから直接設定します。詳細については、本書に記載されています。本機をパソコンに接続していない場合は、操作パネルから設定してください。

■ MultiPASS Suiteを使う方法

本機に付属しているMultiPASS Suiteを使って、パソコンから設定します。詳細については、「MultiPASS Suiteソフトウェアガイド」を参照してください。



- 操作パネルとMultiPASS Suiteの両方から設定した場合、最後に行った設定が有効になります。なお、操作パネルから行った設定は、MultiPASS Suiteの画面には反映されません。混乱しないように、操作パネルかMultiPASS Suiteのどちらか一方から設定することをおすすめします。
- 本機をパソコンに接続している場合は、MultiPASS Suiteから設定することをおすすめします。

文字を入力する

テンキーに割り当てられている文字は、次のとおりです。

<table>
<tr><th>ボタン</th><th>カナモード（:ア）</th><th>英字モード（:A）</th><th>数字モード（:1）</th></tr>
<tr><td>ア ①</td><td>アイウエオ</td><td></td><td>1</td></tr>
<tr><td>カABC ②</td><td>カキクケコ</td><td>A B C a b c</td><td>2</td></tr>
<tr><td>サDEF ③</td><td>サシスセソ</td><td>D E F d e f</td><td>3</td></tr>
<tr><td>タGHI ④</td><td>タチツテト</td><td>G H I g h i</td><td>4</td></tr>
<tr><td>ナJKL ⑤</td><td>ナニヌネノ</td><td>J K L j k l</td><td>5</td></tr>
<tr><td>ハMNO ⑥</td><td>ハヒフヘホ</td><td>M N O m n o</td><td>6</td></tr>
<tr><td>マPQRS ⑦</td><td>マミムメモ</td><td>P Q R S p q r s</td><td>7</td></tr>
<tr><td>ヤTUV ⑧</td><td>ヤユヨ</td><td>T U V t u v</td><td>8</td></tr>
<tr><td>ラWXYZ ⑨</td><td>ラリルレロ</td><td>W X Y Z w x y z</td><td>9</td></tr>
<tr><td>ワ ⓪</td><td>ワヲンァィゥェォャュョッ</td><td></td><td>0</td></tr>
<tr><td>記号 #</td><td>゛ ゜ 。「」、・ー</td><td colspan="2">−.＊#!",;:^`_=/|'?$@%&+()[]{}<></td></tr>
<tr><td>カナ/英/数 ＊ トーン</td><td colspan="3">カナモード（:ア）←→英字モード（:A）←→数字モード（:1）</td></tr>
</table>



- データの登録中に2分以上何も操作をしないと、自動的にスタンバイモードに戻ります。

■ 文字の入力のしかた

1 ⋇ボタンを押して、文字モードに切り替えます（：ア）（：A）。

例：
```
ナマエ                :ア
      _
```

2 入力する文字が割り当てられているテンキーのボタンを押します。

例：
```
ナマエ                :ア
      キ
```

- 入力する文字が表示されるまで繰り返し押します。ボタンを押すたびに、そのボタンに割り当てられている文字が順に表示されます。
- 文字の入力のしかたについては、2-1ページを参照してください。



3 テンキーで、次の文字を入力します。

例：
```
ナマエ                :ア
      キヤ
```

- 次に入力する文字が別のテンキーに割り当てられている場合は、続けて文字を入力します。
- 次に入力する文字が2の操作で入力した文字と同じテンキーに割り当てられている場合は、▶ボタンを押して、カーソルを次に移動してから、入力する文字が表示されるまで繰り返しそのボタンを押します。
- スペースを入力するには、▶ボタンを押して、カーソルを次に移動します。

■ 数字の入力のしかた

1 ⋇ボタンを押して、数字モードに切り替えます（：1）。

例：
```
ナマエ                :1
      _
```

2 入力する数字が割り当てられているテンキーのボタンを押します。

例：
```
ナマエ                :1
      1_
```

- スペースを入力するには、▶ボタンを押して、カーソルを次に移動します。



3 テンキーで、次の数字を入力します。

例：
```
ナマエ                :1
      10_
```

■ 記号の入力のしかた

1 入力する記号が表示されるまで、繰り返し#ボタンを押します。

例：
```
ナマエ                :1
      #
```



2 続けて記号を入力するときは、▶ボタンを押してカーソルを次に移動し、入力する記号が表示されるまで、繰り返し# ボタンを押します。

例：
```
ナマエ                :1
      #=
```

入力した文字を修正、削除する

文字、数字、記号を間違って入力してしまったときは、◀ボタンを押して削除し、もう一度入力し直します。

■ 最後に入力した文字を削除する

◀ボタンを一度押すと、最後に入力した文字/数字/記号が削除されます。

■ 入力した文字をすべて削除する

◀ボタンを押し続けると、入力した文字/数字/記号がすべて削除されます。

発信元情報を登録する

送信したファクスに次の発信元情報を付けることができます。

- ファクス/電話番号
- 名前または会社名
- 送信した日付と時刻

これらの情報は、ファクスのいちばん上に印刷されます。
ここでは、発信元情報の登録のしかたについて説明します。

発信元情報とは

ファクスで受信した文書のいちばん上に印刷されている発信元のファクス/電話番号、名前または会社名、送信した日付と時刻などを発信元情報といいます。本機で発信元情報を登録すると、次のように印刷されます。


メモ

- 発信元情報を、送信するファクスの画像領域の内側と外側のどちらに付けるかを設定できます（→「発信元記録位置（ハッシンモト キロク イチ）」9-4ページ）。
- 発信元情報は、操作パネル（→1-1ページ）、またはMultiPASS Suite（→「MultiPASS Suite ソフトウェアガイド」）から登録できます。

日付と時刻を設定する

1 **メニュー**ボタンを押します。

2 ◀ボタンまたは▶ボタンを押して、「ファクス シヨウ セッテイ」を選びます。

例：
```
メニュー
  5.ファクス シヨウ セッテイ
```

3 **セット**ボタンを3回押します。

現在設定されている日付と時刻が表示されます。

```
ファクス シヨウ セッテイ
  1.キホン セッテイ
```

```
キホン セッテイ
  1.ヒヅケ/ジコク セット
```

例：
```
ヒヅケ/ジコク セット
2001 12/03       13:00
```



4 テンキーで、年、月、日、時刻の順に、正しい日付と時刻を入力します。

例：
```
ヒヅケ/ジコク セット
2001 12/03       14:38
```

- ◀ボタンまたは▶ボタンを押して、変更したい数字の下にカーソルを移動し、テンキーで変更します。
- 年は、最後の2桁だけを入力します。
- 時刻は、24時間制で入力します（例：午後1時は13:00と入力します）。

5 **セット**ボタンを押します。

```
ヒヅケ/ジコク セット
トウロク シマシタ
```

```
キホン セッテイ
  2.ヒヅケ タイプ
```

6 **ストップ/リセット**ボタンを押して、スタンバイモードに戻ります。

ファクス/電話番号と名前/会社名を登録する

1 **メニュー**ボタンを押します。

2 ◀ボタンまたは▶ボタンを押して、「ファクス シヨウ セッテイ」を選びます。

例：
```
メニュー
  5.ファクス シヨウ セッテイ
```

3 **セット**ボタンを2回押します。

```
ファクス シヨウ セッテイ
  1.キホン セッテイ
```

```
キホン セッテイ
  1.ヒヅケ/ジコク セット
```

4 ◀ボタンまたは▶ボタンを押して、「ユーザ TEL トウロク」を選びます。

```
キホン セッテイ
  3.ユーザ  TEL トウロク
```



5 **セット**ボタンを押します。

例：
```
ユーザ  TEL トウロク
TEL=
```

6 テンキーで、あなたのファクス/電話番号を入力します（スペースを含めて20桁まで入力できます）。

例：
```
ユーザ  TEL トウロク
TEL=      03 3758 2111
```

- ファクス/電話番号がすでに登録されているときは、その番号が表示されます。
- スペースを入力するには、▶ボタンを押して、カーソルを次に移動します。
- 番号の前にプラス記号（+）を入力するには、# ボタンを押します。
- 間違って入力したときは、◀ボタンを押して最後に入力した文字から順に削除するか、◀ボタンを押し続けて入力した番号をすべて削除します。



7 **セット**ボタンを2回押します。

```
ユーザ゛ TEL トウロク
トウロク シマシタ
```

```
キホン セッテイ
  4.ユーザ゛ リャクショウ トウロク
```

例：
```
ユーザ゛ リャクショウ トウロク  :ア
        _
```

8 テンキーで、名前または会社名を入力します（スペースを含めて24文字まで入力できます）。

例：
```
ユーザ゛ リャクショウ トウロク  :ア
      キヤノン ホンシャ
```

- 文字の入力のしかたについては、2-1ページを参照してください。



- 名前または会社名がすでに登録されているときは、その名前が表示されます。変更するときは、◀ボタンを押し続けて前回の入力を削除し、新しい名前を入力します。

9 **セット**ボタンを押します。

例：
```
ユーザ゛ リャクショウ トウロク  :ア
トウロク シマシタ
```

```
キホン セッテイ
  5.ハッシンモト キロク
```

10 **ストップ/リセット**ボタンを押して、スタンバイモードに戻ります。

ユーザデータリストを印刷して発信元情報を確認する

登録した発信元情報や現在の設定を確認するには、ユーザデータリストを印刷します。

1 **メニュー**ボタンを押します。

2 ◀ボタンまたは▶ボタンを押して、「レポ゜ート/リスト」を選びます。

例：
```
メニュー
  3.レポ゜ート/リスト
```

3 **セット**ボタンを押します。

```
レポ゜ート/リスト
  1.ツウシン カンリ レポ゜ート
```



4 ◀ボタンまたは▶ボタンを押して、「ユーザ゛デ゛ータリスト」を選びます。

```
レポ゜ート/リスト
  3.ユーザ゛デ゛ータリスト
```

5 **セット**ボタンを押します。

```
レポ゜ート シュツリョク チュウ
```

- ユーザデータリストが印刷されます。

発信元情報はリストのいちばん上に印刷されます。続いて、本機の現在の設定が印刷されます。

2001 12/03 14:40 FAX 03 3758 2111　キヤノン ホンシャ　001

```
*****************************
***  ユーザデータリスト  ***
*****************************

ファクス仕様設定
  基本設定
    日付タイプ              YYYY MM/DD
    ユーザ電話番号              03 3758 2111
    ユーザ略称              キヤノン ホンシャ
    発信元記録              付ける
      発信元記録位置          画像の外に付ける
      電話番号マーク          FAX
    オフフック アラーム      鳴らす
```

電話回線の種類を設定する

本機を使う前に、電話回線の種類を正しく設定してください。本機を接続している電話回線の種類がわからないときは、電話会社に問い合わせてください。工場出荷時は、「ダイヤル回線（ダ゛イヤル　カイセン）」に設定されています。「ダイヤル回線（ダ゛イヤル　カイセン）」に設定した場合は、回線速度も設定してください。

1 **メニュー**ボタンを押します。

2 ◀ボタンまたは▶ボタンを押して、「ファクス　シヨウ　セッテイ」を選びます。

例：
```
メニュー
  5．ファクス　シヨウ　セッテイ
```

3 **セット**ボタンを2回押します。

```
ファクス　シヨウ　セッテイ
  1．キホン　セッテイ
```

```
キホン　セッテイ
  1．ヒヅ゛ケ／ジ゛コク　セット
```

4 ◀ボタンまたは▶ボタンを押して、「カイセン　シュルイ　センタク」を選びます。

```
キホン　セッテイ
  9．カイセン　シュルイ　センタク
```

5 **セット**ボタンを押します。

例：
```
カイセン　シュルイ　センタク
                ダ゛イヤル　カイセン
```

6 ◀ボタンまたは▶ボタンを押して、設定する電話回線の種類を選びます。

例：
```
カイセン　シュルイ　センタク
                プ゛ッシュ　カイセン
```

- 次の中から選んでください。
  - ダ゛イヤル　カイセン
  - プ゛ッシュ　カイセン

↗

プッシュ回線の場合

7 **セット**ボタンを押します。

```
ファクス　シヨウ　セッテイ
  2．レポ゜ート　セッテイ
```

8 **ストップ/リセット**ボタンを押して、スタンバイモードに戻ります。

ダイヤル回線の場合

7 **セット**ボタンを押します。

例：
```
ダ゛イヤルスピ゜ード゛　センタク
                          20PPS
```

8 ◀ボタンまたは▶ボタンを押して、回線速度を選びます。

例：
```
ダ゛イヤルスピ゜ード゛　センタク
                          10PPS
```

- 次の中から選んでください。
  - 20PPS
  - 10PPS

9 **セット**ボタンを押します。

```
ファクス　シヨウ　セッテイ
  2．レポ゜ート　セッテイ
```

10 **ストップ/リセット**ボタンを押して、スタンバイモードに戻ります。

第3章

スピードダイヤルの登録

スピードダイヤルとは

スピードダイヤルとは、あらかじめ送信先のファクス/電話番号と名前を、ワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルに登録しておき、かんたんにダイヤルする方法です。

スピードダイヤルの方法

スピードダイヤルには、次の3つの方法があります。

■ ワンタッチダイヤル（→3-2ページ）

ワンタッチダイヤルにファクス/電話番号を登録しておくと、ワンタッチダイヤルボタンを押すだけでダイヤルできます。12件まで登録できます。

■ 短縮ダイヤル（→3-4ページ）

短縮ダイヤルにファクス/電話番号を登録しておくと、**短縮**ボタンを押して、登録した2桁の数字のボタンを押すだけでダイヤルできます。100件まで登録できます。

■ グループダイヤル（→3-7ページ）

ひとつのワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルに、すでに登録されているワンタッチダイヤル、短縮ダイヤルをまとめて登録することができます。グループダイヤルを登録しておくと、かんたんな操作で、同じ原稿を複数の送信先に一度に送信できます。

本章にしたがってスピードダイヤルを登録してください。



- スピードダイヤルを使ってダイヤルする方法については、4-4、4-5ページを参照してください。
- スピードダイヤルは、MultiPASS Suiteから登録することもできます（→「MultiPASS Suite ソフトウェアガイド」）。
- 操作パネルから行った設定は、MultiPASS Suiteの画面には反映されません。
- MultiPASS Suiteから設定すると、操作パネルから行った設定は無効になります。

ワンタッチダイヤル

ワンタッチダイヤルを登録する

1 **メニュー**ボタンを押します。

2 ◀ボタンまたは▶ボタンを押して、「デ゛ンワバ゛ンゴ゛ウ　トウロク」を選びます。

例：
```
メニュー
 4.デ゛ンワバ゛ンゴ゛ウ トウロク
```

3 **セット**ボタンを2回押します。

```
デ゛ンワバ゛ンゴ゛ウ トウロク
 1.ワンタッチ ダ゛イヤル
```

例：
```
ワンタッチ ダ゛イヤル
 01=
```

4 ◀ボタンまたは▶ボタンを押して、ワンタッチダイヤルボタン(01～12)を選びます。

例：
```
ワンタッチ ダ゛イヤル
 04=
```

- ファクス/電話番号がすでに登録されているときは、その番号が表示されます。
- グループがすでに登録されているときは、「グ゛ループ゜　ダ゛イヤル」と表示されます。

5 **セット**ボタンを2回押します。

```
ワンタッチ ダ゛イヤル
 1.デ゛ンワバ゛ンゴ゛ウ
```

```
デ゛ンワバ゛ンゴ゛ウ
TEL=_
```

6 テンキーで、送信先のファクス/電話番号を入力します（スペースとポーズを含めて120桁まで入力できます）。

例：
```
デ゛ンワバ゛ンゴ゛ウ
TEL=082 248 9000_
```

- スペースを入力するには、▶ボタンを押して、カーソルを次に移動します。スペースは番号を読みやすくするためのものです。ダイヤルするときは無視されます。
- ポーズを入力するには、**リダイヤル/ポーズ**ボタンを押します。
- 間違って入力したときは、◀ボタンを押して最後に入力した文字から順に削除するか、◀ボタンを押し続けて入力した番号をすべて削除します。

7 **セット**ボタンを2回押します。

```
デ゛ンワバ゛ンゴ゛ウ
トウロク シマシタ
```

```
ワンタッチ ダ゛イヤル
 2.ナマエ
```

```
ナマエ                :ア
    _
```

8 テンキーで、送信先の名前を入力します（スペースを含めて16文字まで入力できます）。

例：
```
ナマエ                :ア
     キヤノン ハンバ゛イ ヒロシマ
```

- 名前を登録しないときは、この操作は不要です。9の操作へ進んでください。
- 文字の入力のしかたについては、2-1ページを参照してください。

9 **セット**ボタンを押します。

例：
```
ナマエ                :ア
トウロク シマシタ
```

例：
```
ワンタッチ ダ゛イヤル
 05=
```

10 続けて他のワンタッチダイヤルを登録するときは、4以降の操作を繰り返します。終了するときは、**ストップ/リセット**ボタンを押して、スタンバイモードに戻ります。



- 宛先ラベルを貼っておくと、ダイヤルするときに便利です。

■ ワンタッチダイヤルのファクス/電話番号や名前を変更、削除する

1 「ワンタッチダイヤルを登録する」（→3-2ページ）の1〜3の操作を行います。

2 ◀ボタンまたは▶ボタンを押して、変更または削除するワンタッチダイヤルを選びます。

例：
```
ワンタッチ ダ゛イヤル
 02=       011 728 9966
```

3 **セット**ボタンを2回押します。

```
ワンタッチ ダ゛イヤル
 1.デ゛ンワバ゛ンゴ゛ウ
```

例：
```
デ゛ンワバ゛ンゴ゛ウ
TEL=011 728 9966_
```

▮ 変更する場合

4 ◀ボタンを押して、登録されているファクス/電話番号を削除し、新しい番号を入力します。

例：
```
デ゛ンワバ゛ンゴ゛ウ
TEL=011 728 9000_
```

- ファクス/電話番号を変更しないときは、この操作は不要です。5の操作へ進んでください。
- スペースを入力するには、▶ボタンを押して、カーソルを次に移動します。スペースは番号を読みやすくするためのものです。ダイヤルするときは無視されます。
- ポーズを入力するには、**リダイヤル/ポーズ**ボタンを押します。
- 間違って入力したときは、◀ボタンを押して最後に入力した文字から順に削除するか、◀ボタンを押し続けて入力した番号をすべて削除します。

5 **セット**ボタンを2回押します。

```
デ゛ンワバ゛ンゴ゛ウ
トウロク シマシタ
```

```
ワンタッチ ダ゛イヤル
 2.ナマエ
```

例：
```
ナマエ                    :ア
      キヤノン ハンバ゛イ サッポ゛ン
```

↗

6 ◀ボタンを押し続けて、登録されている名前を削除し、新しい名前を入力します。

例：
```
ナマエ                    :ア
      キヤノン ハンバ゛イ サッポ゛ロ
```

- 名前を変更しないときは、この操作は不要です。7の操作へ進んでください。
- 文字の入力のしかたについては、2-1ページを参照してください。

7 **セット**ボタンを押します。

```
ナマエ                    :ア
トウロク シマシタ
```

例：
```
ワンタッチ ダ゛イヤル
 03=       022 265 9000
```

8 **ストップ/リセット**ボタンを押して、スタンバイモードに戻ります。

▮ 削除する場合

4 ◀ボタンを押し続けて、登録されているファクス/電話番号を削除します。

```
デ゛ンワバ゛ンゴ゛ウ
TEL=
```

5 **セット**ボタンを押します。

```
デ゛ンワバ゛ンゴ゛ウ
クリア シマシタ
```

```
ワンタッチ ダ゛イヤル
 2.ナマエ
```

6 **ストップ/リセット**ボタンを押して、スタンバイモードに戻ります。



- ファクス/電話番号を削除すると、登録されていた名前も自動的に削除されます。

短縮ダイヤル

短縮ダイヤルを登録する

1 **メニュー**ボタンを押します。

2 ◀ボタンまたは▶ボタンを押して、「デ゛ンワバ゛ンゴ゛ウ トウロク」を選びます。

例：
```
メニュー
  4.デ゛ンワバ゛ンゴ゛ウ トウロク
```

3 **セット**ボタンを押します。

```
デ゛ンワバ゛ンゴ゛ウ トウロク
  1.ワンタッチ ダ゛イヤル
```

4 ◀ボタンまたは▶ボタンを押して、「タンシュク ダ゛イヤル」を選びます。

```
デ゛ンワバ゛ンゴ゛ウ トウロク
  2.タンシュク ダ゛イヤル
```

5 **セット**ボタンを押します。

例：
```
タンシュク ダ゛イヤル
*00=
```

6 ◀ボタンまたは▶ボタンを押して、短縮ダイヤル番号（00～99）を選びます。

例：
```
タンシュク ダ゛イヤル
*02=
```

- ファクス/電話番号がすでに登録されているときは、その番号が表示されます。
- グループがすでに登録されているときは、「グ゛ループ゜ ダ゛イヤル」と表示されます。
- 短縮ダイヤル番号は、**短縮**ボタンを押したあと、テンキー（00～99）を押して選ぶこともできます。

7 **セット**ボタンを2回押します。

```
タンシュク ダ゛イヤル
  1.デ゛ンワバ゛ンゴ゛ウ
```

```
デ゛ンワバ゛ンゴ゛ウ
TEL=_
```

8 テンキーで、送信先のファクス/電話番号を入力します（スペースとポーズを含めて120桁まで入力できます）。

例：
```
デ゛ンワバ゛ンゴ゛ウ
TEL=075 241 9000_
```

- スペースを入力するには、▶ボタンを押してカーソルを次に移動します。スペースは番号を読みやすくするためのものです。ダイヤルするときは無視されます。
- ポーズを入力するには、**リダイヤル/ポーズ**ボタンを押します。
- 間違って入力したときは、◀ボタンを押して最後に入力した文字から順に削除するか、◀ボタンを押し続けて入力した番号をすべて削除します。

9 **セット**ボタンを2回押します。

```
デ゛ンワバ゛ンゴ゛ウ
トウロク シマシタ
```

```
タンシュク ダ゛イヤル
  2.ナマエ
```

```
ナマエ                :ア
     _
```

10 テンキーで、送信先の名前を入力します（スペースを含めて16文字まで入力できます）。

例：
```
ナマエ                :ア
     キヤノン ハンバ゛イ キョウト
```

- 名前を登録しないときは、この操作は不要です。11の操作へ進んでください。
- 文字の入力のしかたについては、2-1ページを参照してください。

11 **セット**ボタンを押します。

例：
```
ナマエ                :ア
トウロク シマシタ
```

例：
```
タンシュク ダ゛イヤル
*03=
```

12 続けて他の短縮ダイヤルを登録するときは、6以降の操作を繰り返します。
終了するときは、**ストップ/リセット**ボタンを押して、スタンバイモードに戻ります。






- 短縮ダイヤル電話番号リストを印刷すると、短縮ダイヤルに登録されている番号や名前を確認できます（→3-9ページ）。本機の側に置いておくと、ダイヤルするときに便利です。

短縮ダイヤルのファクス/電話番号や名前を変更、削除する

1 「短縮ダイヤルを登録する」（→3-4ページ）の1〜5の操作を行います。

2 ◀ボタンまたは▶ボタンを押して、変更または削除する短縮ダイヤル番号を選びます。

例：
```
タンシュク ダ゛イヤル
*01=       0196 46 9966
```

- 短縮ダイヤル番号は、**短縮**ボタンを押したあと、テンキー（00〜99）を押して選ぶこともできます。

3 **セット**ボタンを2回押します。

```
タンシュク ダ゛イヤル
 1.デ゛ンワバ゛ンゴ゛ウ
```

例：
```
デ゛ンワバ゛ンゴ゛ウ
TEL=0196 46 9966_
```

変更する場合

4 ◀ボタンを押して、登録されているファクス/電話番号を削除し、新しい番号を入力します。

例：
```
デ゛ンワバ゛ンゴ゛ウ
TEL=0196 46 9000_
```

- ファクス/電話番号を変更しないときは、この操作は不要です。5の操作へ進んでください。
- スペースを入力するには、▶ボタンを押して、カーソルを次に移動します。スペースは番号を読みやすくするためのものです。ダイヤルするときは無視されます。
- ポーズを入力するには、**リダイヤル/ポーズ**ボタンを押します。



- 間違って入力したときは、◀ボタンを押して最後に入力した文字から順に削除するか、◀ボタンを押し続けて入力した番号をすべて削除します。

5 **セット**ボタンを2回押します。

```
デ゛ンワバ゛ンゴ゛ウ
トウロク シマシタ
```

```
タンシュク ダ゛イヤル
 2.ナマエ
```

例：
```
ナマエ                 :ア
      キヤノン ハンバ゛イ ヤマオカ
```

6 ◀ボタンを押し続けて、登録されている名前を削除し、新しい名前を入力します。

例：
```
ナマエ                 :ア
      キヤノン ハンバ゛イ モリオカ
```

- 名前を変更しないときは、この操作は不要です。7の操作へ進んでください。
- 文字の入力のしかたについては、2-1ページを参照してください。

7 **セット**ボタンを押します。

```
ナマエ                 :ア
トウロク シマシタ
```

例：
```
タンシュク ダ゛イヤル
*02=       075 241 9000
```

8 **ストップ/リセット**ボタンを押して、スタンバイモードに戻ります。



■ 削除する場合

4 ◀ボタンを押し続けて、登録されているファクス/電話番号を削除します。

```
デ゛ンワバ゛ンゴ゛ウ
TEL=
```



5 **セット**ボタンを押します。

```
デ゛ンワバ゛ンゴ゛ウ
クリア シマシタ
```

```
タンシュク ダ゛イヤル
 2.ナマエ
```

6 **ストップ/リセット**ボタンを押して、スタンバイモードに戻ります。



- ファクス/電話番号を削除すると、登録されていた名前も自動的に削除されます。

グループダイヤル

グループダイヤルを登録、変更、削除する

1 **メニュー**ボタンを押します。

2 ◀ボタンまたは▶ボタンを押して、「デ゛ンワバ゛ンゴ゛ウ トウロク」を選びます。

例：
```
メニュー
  4.デ゛ンワバ゛ンゴ゛ウ トウロク
```

3 **セット**ボタンを押します。

```
デ゛ンワバ゛ンゴ゛ウ トウロク
  1.ワンタッチ ダ゛イヤル
```

4 ◀ボタンまたは▶ボタンを押して、「グ゛ループ゜ ダ゛イヤル」を選びます。

```
デ゛ンワバ゛ンゴ゛ウ トウロク
  3.グ゛ループ゜ ダ゛イヤル
```

5 **セット**ボタンを押します。

例：
```
グ゛ループ゜ ダ゛イヤル
  01=ワンタッチ ダ゛イヤル
```

6 グループを登録するワンタッチダイヤルボタンまたは短縮ダイヤル番号を選びます。


メモ
- 別の番号やグループがすでに登録されているときは、あらかじめ削除しておいてください。

ワンタッチダイヤルに登録する場合

◀ボタンまたは▶ボタンを押して、グループを登録するワンタッチダイヤルボタン（01～12）を選びます。

例：
```
グ゛ループ゜ ダ゛イヤル
  10=
```

- ファクス/電話番号やグループがすでに登録されているときは、「ワンタッチ ダ゛イヤル」または「グ゛ループ゜ ダ゛イヤル」と表示されます。

短縮ダイヤルに登録する場合

短縮ボタンを押して、グループを登録する短縮ダイヤル番号（00～99）をテンキーで入力します。

例：
```
グ゛ループ゜ ダ゛イヤル
*10=
```

- ファクス/電話番号やグループがすでに登録されているときは、「タンシュク ダ゛イヤル」または「グ゛ループ゜ ダ゛イヤル」と表示されます。

7 **セット**を2回押します。

```
グ゛ループ゜ ダ゛イヤル
  1.デ゛ンワバ゛ンゴ゛ウ
```

```
TEL=
```

8 グループダイヤルに登録したい相手先を、ワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルで選びます。

ワンタッチダイヤルを登録する場合

グループに登録したいワンタッチダイヤルボタンを押します。すべて登録するまで、繰り返します。

例：
```
TEL=       03 3455 9000
 01 キヤノン ハンバ゛イ
```

■ 短縮ダイヤルを登録する場合

短縮ボタンを押して、グループに登録したい短縮ダイヤル番号をテンキーで入力します。すべて登録するまで、繰り返します。

例：
```
TEL=      0196 46 9000
*01 キヤノン ハンバ゛イ モリオカ
```

- グループに登録できるのは、スピードダイヤルに登録されている番号だけです。
- ◀ボタンまたは▶ボタンを押すと、グループに登録した番号がLCDディスプレイに表示されます。
  - グループ内の番号を1件削除するときは、削除する番号を表示させ、◀ボタンを押し続けて削除します（「クリア　シマシタ」と表示されます）。
  - グループ自体を削除するときは、グループ内の番号をすべて削除します。番号をすべて削除すると、グループは削除されます（番号を削除すると、グループの名前も自動的に削除されます）。
  - グループに番号を追加するときは、追加したい番号が登録されているワンタッチダイヤルボタンまたは短縮ダイヤル番号を押し、すべての番号を指定します。
- **ストップ/リセット**ボタンを押すと、番号の登録を中止してスタンバイモードに戻ります。

9 **セット**ボタンを2回押します。

```
ク゛ループ゜ ダ゛イヤル
 2.ナマエ
```

```
ナマエ                :ア
      _
```



10 テンキーで、グループの名前を入力します（スペースを含めて16文字まで入力できます）。

例：
```
ナマエ                 :A
      キヤノン ク゛ループ゜ A
```

- 名前を登録しないときは、この操作は不要です。11の操作へ進んでください。
- 文字の入力のしかたについては、2-1ページを参照してください。

11 **セット**ボタンを押します。

例：
```
ナマエ                 :A
トウロク シマシタ
```

例：
```
ク゛ループ゜ ダ゛イヤル
 11=
```

12 続けて他のグループを登録するときは、6以降の操作を繰り返します。
終了するときは、**ストップ/リセット**ボタンを押して、スタンバイモードに戻ります。



- グループダイヤル電話番号リストを印刷すると、グループに登録されている番号や名前を確認できます（→3-9ページ）。本機の側に置いておくと、ダイヤルするときに便利です。

スピードダイヤルリスト

スピードダイヤルリストを印刷する

スピードダイヤルに登録したファクス/電話番号の一覧を印刷できます。本機の側に置いておくと、ダイヤルするときに便利です。

1 **メニュー**ボタンを押します。

2 ◀ボタンまたは▶ボタンを押して、「レポ゚ート/リスト」を選びます。

例：
```
メニュー
  3. レポ゚ート/リスト
```

3 **セット**ボタンを押します。

```
レポ゚ート/リスト
  1. ツウシン　カンリ　レポ゚ート
```

4 ◀ボタンまたは▶ボタンを押して、「ダ゙イヤルリスト」を選びます。

```
レポ゚ート/リスト
  2. ダ゙イヤルリスト
```

5 **セット**ボタンを押します。

```
ダ゙イヤルリスト
  1. ワンタッチ　ダ゙イヤルリスト
```

6 ◀ボタンまたは▶ボタンを押して、印刷するリストを選びます。

例：
```
ダ゙イヤルリスト
  2. タンシュク　ダ゙イヤルリスト
```

- 次の中から選んでください。
  - ワンタッチ　ダ゙イヤルリスト
  - タンシュク　ダ゙イヤルリスト
  - グ゙ループ゚ダ゙イヤルリスト



7 **セット**ボタンを押します。

```
ソート　シュツリョク
ハイ= (*)        イイエ= (#)
```

- 6の操作で、「ワンタッチ　ダ゙イヤルリスト」または「タンシュク　ダ゙イヤルリスト」を選んだときは、リストの並び順を選びます。
  *ボタンを押すと、送信先の名前の順に印刷されます。
  #ボタンを押すと、ワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルの番号順に印刷されます。
- リストが印刷されます。

スピードダイヤルリストのサンプルは、次のとおりです。

■ ワンタッチダイヤル電話番号リスト

2001 12/03 14:40 FAX 03 3758 2111 キヤノン ホンシャ 001

*** ワンタッチダイヤル電話番号リスト ***

番号	相手の電話番号	相手先略称
[10]	グループダイヤル	キヤノン グループ A
[01]	03 3455 9000	キヤノン ハンバイ
[05]	06 6441 9000	キヤノン ハンバイ オオサカ
[02]	011 728 9000	キヤノン ハンバイ サッポロ
[03]	022 265 9000	キヤノン ハンバイ センダイ
[04]	082 248 9000	キヤノン ハンバイ ヒロシマ

ソート出力しないとき：ワンタッチダイヤルの番号順に並ぶ

ソート出力するとき：送信先の名前の順に並ぶ

■ 短縮ダイヤル電話番号リスト

2001 12/03 14:40 FAX 03 3758 2111 キヤノン ホンシャ 001

*** 短縮ダイヤル電話番号リスト ***

番号	相手の電話番号	相手先略称
[* 10]	グループダイヤル	キヤノン グループ B
[* 02]	075 241 9000	キヤノン ハンバイ キョウト
[* 03]	098 867 9000	キヤノン ハンバイ ナハ
[* 01]	0196 46 9000	キヤノン ハンバイ モリオカ
[* 00]	082 243 9000	キヤノン ヒロシマ

ソート出力しないとき：短縮ダイヤルの番号順に並ぶ

ソート出力するとき：送信先の名前の順に並ぶ

■ グループダイヤル電話番号リスト

2001 12/03 14:40 FAX 03 3758 2111 キヤノン ホンシャ 001

*** グループダイヤル電話番号リスト ***

[10] キヤノン グループ A	[01] 03 3455 9000	キヤノン ハンバイ
	[02] 011 728 9000	キヤノン ハンバイ サッポロ
	[03] 022 265 9000	キヤノン ハンバイ センダイ
	[* 01] 0196 46 9000	キヤノン ハンバイ モリオカ
[* 10] キヤノン グループ B	[* 02] 075 241 9000	キヤノン ハンバイ キョウト
	[* 03] 098 867 9000	キヤノン ハンバイ ナハ

第4章

ファクスを送信する

ファクスを送信する前に

送信できる原稿

送信できる原稿の種類、条件、セット方法については、「ユーザーズガイド」を参照してください。

画質を設定する

本機は、キヤノンのGENESIS（ジェネシス）によって、原稿にきわめて近い画質でファクスを送信できます。カラーまたは白黒、解像度、濃度を原稿に合わせて設定できます。



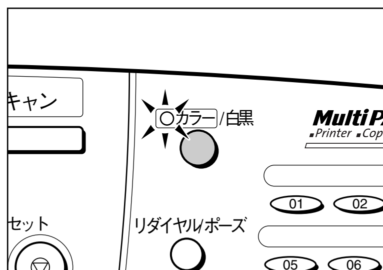
• 原稿の読みこみ中は、設定を変更できません。

カラーまたは白黒を設定する

ファクスは通常、白黒で送信されます。送信先のファクス機器がカラーファクスに対応している場合は、カラーで送信することもできます。ファクスを送信する前に、カラーまたは白黒のどちらで送信するかを選んでください。

■ **カラー/白黒ボタンとランプ**

カラー/白黒ボタンを押すと、カラーモードと白黒モードが切り替わります。カラーモードを設定すると、**カラー/白黒**ランプが点灯します。白黒モードを設定すると、ランプが消えます。

カラー	白黒
	

■ **カラーで送信するときのご注意**

カラー対応ではないファクス機器にカラーで送信しようとすると、LCDディスプレイに「シロクロモード デ　ヤリナオシ」と表示され、送信できません。白黒で送信し直してください。
また、「カラーダイレクト送信（カラー　ダ イレクト　ソウシン）」（→9-6ページ）を「スル」に設定しておくと、送信先のファクス機器がカラーファクスに対応していない場合は、自動的に白黒に変換されるので、エラーを発生させることなく送信できます。



• ファクスの送信が終了するか、送信を中止すると、自動的に白黒モードに戻ります。

解像度を変える

解像度の設定をすると、ファクスの画質が変わります。解像度を低くすると、文字や画像の線がギザギザで粗くなります。解像度を高くすると、文字や画像の線はなめらかになり、細かい部分まで明確なファクスを送信できます。



• 解像度が高いほど画質はよくなりますが、通信速度は遅くなります。

1 **画質**ボタンを押します。

例：
```
ファクス カイゾ゛ウド゛ セッテイ
          シロクロ ヒョウシ゛ュン
```
（白黒モード）

例：
```
ファクス カイゾ゛ウド゛ セッテイ
           カラー ヒョウシ゛ュン
```
（カラーモード）

2 ◀ボタンまたは▶ボタンを押して、解像度を選びます。

• 白黒モードの場合は、次の中から選んでください。
  - シロクロ ヒョウシ゛ュン
    通常の文字原稿に適しています。
  - シロクロ ファイン
    細かい文字原稿に適しています。



  - シロクロ シャシン
    写真原稿などに適しています。写真などの濃淡が、64階調のグレースケールで読みこまれます。

• カラーモードの場合は、次の中から選んでください。
  - カラー ヒョウシ゛ュン
    通常のカラー原稿に適しています。
  - カラー ファイン
    細かいカラー原稿に適しています。

3 **セット**ボタンを押します。

```
2001 12/3        14:40
シ゛ド゛ウ          ファイン
```

読み取り濃度を変える

原稿に合わせて、読み取る濃度を、3段階から選びます。



• 読み取り濃度は、MultiPASS Suiteから設定することもできます（→「MultiPASS Suiteソフトウェアガイド」）。

1 **濃度**ボタンを押します。

例：
```
ヨミトリ ノウド゛ セット
   -ウスク◁□■□▶ コク+
```

2 ◀ボタンまたは▶ボタンを押して、読み取り濃度を選びます。濃度を薄くするときは、◀ボタンを押します。濃度を濃くするときは、▶ボタンを押します。

例：
```
ヨミトリ ノウド゛ セット
   -ウスク◁□□■▶ コク+
```



3 **セット**ボタンを押します。

ダイヤルのしかた

ダイヤルのしかたには、次のような方法があります。

■ 本機にファクス番号を登録していない場合

- 通常のダイヤル

■ 本機にファクス番号を登録している場合

- ワンタッチダイヤル
- 短縮ダイヤル
- グループダイヤル



- 登録したファクス番号は、宛先ラベルやスピードダイヤルリストで確認できます（→3-10ページ）。
- スピードダイヤルの登録については、「第3章　スピードダイヤルの登録」を参照してください。

■ 本機にパソコンを接続している場合

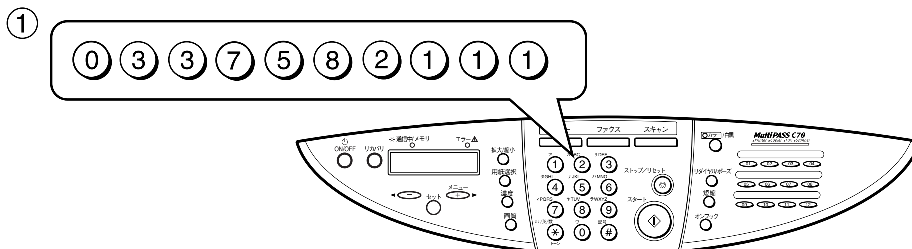
- パソコンからのダイヤル

通常のダイヤルのしかた

通常の電話と同様にテンキーでファクス番号をダイヤルします。

例：

①



② **スタート**ボタンを押します。

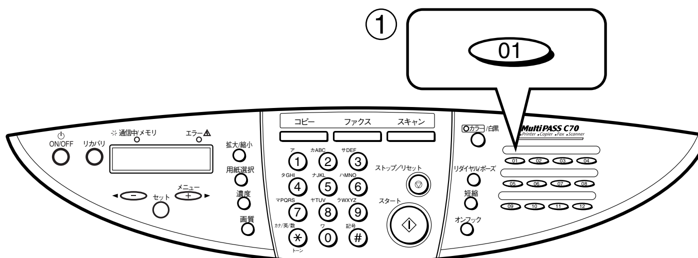
例：

```
TEL=          0337582111
```

- 間違った番号をダイヤルしたときは、**ストップ/リセット**ボタンを押すか、◀ボタンを押して番号を削除し、正しい番号をダイヤルし直します。

ワンタッチダイヤルのしかた

ワンタッチダイヤルボタン（**01~12**）を押すと、登録されているファクス番号にダイヤルします。
例：

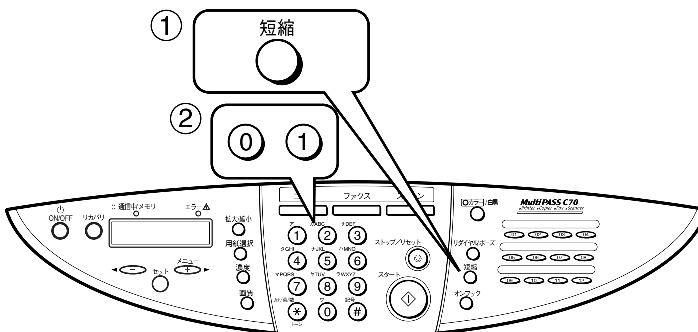


例：
```
TEL=      03 3455 9000
 01 キヤノン ハンバ゛イ
```

- ワンタッチダイヤルボタン（**01~12**）に登録されている番号が表示されます。
- 間違ったワンタッチダイヤルボタンを押したときは、**ストップ/リセット**ボタンを押した後、正しいワンタッチダイヤルボタンを押し直します。
- ワンタッチダイヤルボタンに何も登録されていないときは、「デ゛ンワバ゛ンゴ゛ウ ミトウロク」と表示されます。

短縮ダイヤルのしかた

短縮ボタンを押した後、2桁の短縮ダイヤル番号（**00~99**）を押すと、登録されているファクス番号にダイヤルします。
例：



例：
```
TEL=      0196 46 9000
*01 キヤノン ハンバ゛イ モリオカ
```

- 短縮ダイヤル番号に登録されている番号が表示されます。
- 間違った短縮ダイヤル番号を押したときは、**ストップ/リセット**ボタンを押します。もう一度**短縮**ボタンを押して、正しい短縮ダイヤル番号を押し直します。
- 短縮ダイヤル番号に何も登録されていないときは、「デ゛ンワバ゛ンゴ゛ウ ミトウロク」と表示されます。

グループダイヤルのしかた

複数の送信先が登録されているワンタッチダイヤルもしくは短縮ダイヤルを使ってダイヤルします。

ワンタッチダイヤルに登録されているグループにダイヤルする場合

グループが登録されているワンタッチダイヤルボタンを押します。

例：
```
TEL=ｸﾞﾙｰﾌﾟ ﾀﾞｲﾔﾙ
 10 ｷﾔﾉﾝ ｸﾞﾙｰﾌﾟ A
```

- ワンタッチダイヤルボタン（**01~12**）に登録されているグループの名前が表示されます。
- 間違ったワンタッチダイヤルボタンを押したときは、**ストップ/リセット**ボタンを押した後、正しいワンタッチダイヤルボタンを押し直します。
- ワンタッチダイヤルボタンに何も登録されていないときは、「ﾃﾞﾝﾜﾊﾞﾝｺﾞｳ ﾐﾄｳﾛｸ」と表示されます。

短縮ダイヤルに登録されているグループにダイヤルする場合

短縮ボタンを押した後、グループが登録されている短縮ダイヤル番号を押します。

例：
```
TEL=ｸﾞﾙｰﾌﾟ ﾀﾞｲﾔﾙ
*10 ｷﾔﾉﾝ ｸﾞﾙｰﾌﾟ B
```

- 短縮ダイヤル番号に登録されているグループの名前が表示されます。
- 間違った短縮ダイヤル番号を押したときは、**ストップ/リセット**ボタンを押します。もう一度**短縮**ボタンを押して、正しい短縮ダイヤル番号を押し直します。
- 短縮ダイヤル番号に何も登録されていないときは、「ﾃﾞﾝﾜﾊﾞﾝｺﾞｳ ﾐﾄｳﾛｸ」と表示されます。

パソコンからのダイヤルのしかた

MultiPASS Suiteを使って、パソコンからファクス番号をダイヤルすることもできます（→「MultiPASS Suiteソフトウェアガイド」）。

送信のしかた

原稿の送信には、メモリ送信と手動送信の2つの方法があります。ここでは、これら2つの方法について説明します。

メモリ送信

メモリ送信とは、読みこんだ原稿を本機のメモリにいったん保存し、保存した内容を送信する方法です。メモリ送信では、原稿の最初のページを読みこみ始めると同時に送信先を呼び出します。読みこみながらメモリ内の原稿を順次送信するので、すばやくファクスを送信できます。
また、本機は複数の処理を同時にできるので、原稿の送信中も、他の機能を使うことができます。
メモリには、約270ページ*の原稿を保存できます（写真や絵が多い原稿や文字が細かい原稿の場合は、保存できるページ数が少なくなります）。
* キヤノンFAX標準チャートNo.1（標準モード）使用時

■ ADFを使ったメモリ送信

1 **ファクス**ボタンを押して、ファクスモードにします。

例：
```
2001 12/03        15:00
ジ゛ド゛ウ          ヒョウジ゛ュン
```

2 ADFに原稿をセットします（→「ユーザーズガイド」）。

例：
```
メモリ シヨウ リョウ
                    0%
```

（現在のメモリ使用量が表示されます）

```
ゲ゛ンコウ ガ゛ アリマス
```

（読みこみの準備ができました）

- カラーで送信するには、**カラー/白黒**ボタンを押して、ランプを点灯させます（→4-1ページ）。
- 解像度と読み取り濃度を設定するには、4-2ページを参照してください。

3 送信先のファクス番号をダイヤルします。

例：
```
TEL=          0337582111
```

- ダイヤルのしかたについては、4-3ページを参照してください。
- 間違った番号をダイヤルしたときは、**ストップ/リセット**ボタンを押して、正しい番号をダイヤルし直します。
- 内線から外線にかけるには、外線番号を押し、**リダイヤル/ポーズ**ボタンを押して、ポーズを入力します。

4 **スタート**ボタンを押します。

- 原稿の読みこみが始まります。
- スピードダイヤルを使ってダイヤルした場合で、「ダ゛イヤル タイム アウト」を「スル」に設定しているときは、**スタート**ボタンを押さなくても、しばらくすると自動的に原稿の読みこみが始まります（→9-6ページ）。
- ファクス番号の呼び出しが始まってから送信を中止するには、**ストップ/リセット**ボタンを押して、✱ボタンを押します（→4-9ページ）。



- 一回に最大1mまで読みこむことができます。
- 一回に最大30件まで読みこむことができます。
- 送信中にエラーが発生すると、それまでに読みこんだ原稿は、自動的にメモリから削除されます。
- カラー対応ではないファクス機器にカラー原稿を送信したときや、「シロクロ モート゛ デ゛ ヤリナオシ」と表示されたときは、4-1ページを参照してください。

■ 原稿台ガラスを使ったメモリ送信



- 原稿がADFにセットされていると、原稿台ガラスの原稿ではなく、ADFの原稿を読みこんでしまいます。あらかじめADFから原稿を取り除いてください。

1 **ファクス**ボタンを押して、ファクスモードにします。

例：
```
2001 12/03        15:00
ジ ド ウ          ヒョウジ ュン
```

2 原稿台ガラスに原稿をセットします（→「ユーザーズガイド」）。

- カラーで送信するには、**カラー/白黒**ボタンを押して､ランプを点灯させます(→4-1ページ)。
- 解像度と読み取り濃度を設定するには、4-2ページを参照してください。

3 送信先のファクス番号をダイヤルします。

例：
```
TEL=        0337582111
```

- ダイヤルのしかたについては、4-3ページを参照してください。
- 間違った番号をダイヤルしたときは、**ストップ/リセット**ボタンを押して、正しい番号をダイヤルし直します。
- 内線から外線にかけるには、外線番号を押し、**リダイヤル/ポーズ**ボタンを押して、ポーズを入力します。

4 **スタート**ボタンを押します。

- 原稿の読みこみが始まります。
- スピードダイヤルを使ってダイヤルした場合で、「ダ イヤル タイム アウト」を「スル」に設定していているときは、**スタート**ボタンを押さなくても、しばらくすると自動的に原稿の読みこみが始まります（→9-6ページ）。

```
ツギ ノ ペ ージ       :スタート
ヨミトリ シュウリョウ  :セット
```

- 続けて他の原稿を読みこむときは、原稿を原稿台ガラスにセットして、**スタート**ボタンを押します。



5 **セット**ボタンを押します。

- ファクス番号の呼び出しが始まってから送信を中止するには、**ストップ/リセット**ボタンを押して、✻ボタンを押します（→4-9ページ）。



- 一回に最大30件まで読みこむことができます。
- 送信中にエラーが発生すると、それまでに読みこんだ原稿は、自動的にメモリから削除されます。
- カラーに対応していないファクス機器にカラー原稿を送信したときや、「シロクロモード デ　ヤリナオシ」と表示されたときは､4-1ページを参照してください。

手動送信

手動送信とは、送信先がファクスを受信できることを確認してから送信する方法で、ファクスを送信する前に相手と会話ができます。この方法は、相手がファクスを受信するときに、ファクス機器を手動で切り替える必要がある場合に便利です。



- 手動送信するには、あらかじめ本機に子電話を接続してください（→「かんたんスタートガイド」）。
- 手動送信では、原稿台ガラスを使うことはできません。

1 **ファクス**ボタンを押して、ファクスモードにします。

例：
```
2001 12/03        15:00
ジドウ           ヒョウジュン
```

2 ADFに原稿をセットします（→「ユーザーズガイド」）。

例：
```
メモリ シヨウ リョウ
                     0%
```
（現在のメモリ使用量が表示されます）

```
ゲンコウ ガ アリマス
```
（読みこみの準備ができました）

- カラーで送信するには、**カラー/白黒**ボタンを押して、ランプを点灯させます（→4-1ページ）。
- 解像度と読み取り濃度を設定するには、4-2ページを参照してください。

3 **オンフック**ボタンを押します。

```
TEL=
```

- **オンフック**ボタンを押す代わりに、受話器を取っても操作できます。

4 送信先のファクス番号をダイヤルします。

例：
```
TEL=        0337582111
```

- ダイヤルのしかたについては、4-3ページを参照してください。
- 間違った番号をダイヤルしたときは、**オンフック**ボタンを押して、3の操作からやり直してください。



5 相手の声が聞こえたら、受話器を取って話をします。

- 3の操作で、受話器を取らずに**オンフック**ボタンを押すと、相手の声は聞こえますが、あなたの声は相手に聞こえません。受話器を取って、相手と話してください。
- 相手の声ではなく「ピー」という音が聞こえたときは、ファクスを送信できる状態です。7の操作に進んでください。

6 お互いに準備ができたら、相手にファクス機器のスタートボタンを押してもらいます。

7 「ピー」という音が聞こえたら、**スタート**ボタンを押して、受話器を戻します。

- 原稿の読みこみが始まります。



- **スタート**ボタンを押さずに受話器を戻すと、通話が切れてしまいます。
- 受話器がきちんと戻っていないと、警告音が鳴ります。きちんと戻してください。「オフフック アラーム」を「ナラサナイ」に設定すると、警告音は鳴りません（→9-4ページ）。
- カラーに対応していないファクス機器にカラー原稿を送信したときや、「シロクロモード デ ヤリナオシ」と表示されたときは、4-1ページを参照してください。

送信を中止する

メモリ送信を中止する

■ ADFを使っている場合

原稿読みこみ中に送信を中止する場合は、次の操作を行います。

1 **ストップ/リセット**ボタンを押します。

- 送信が中止されます。
- エラー送信レポートが印刷されます（→7-3ページ）。





- 原稿がADFに残ったときは、スタンバイ表示になってから、**リカバリ**ボタンを押してください。ADFに残った原稿が、自動的に排紙されます。

原稿読みこみ後に送信を中止する場合は、次の操作を行います。

1 **ストップ/リセット**ボタンを押します。

- 中止を確認するメッセージが表示されます。

```
ツウシンヲ　チュウシ　シマスカ?
ハイ=（*）　　　　イイエ=（#）
```



2 ***** ボタンを押します。

- 送信を続けるときは、**#**ボタンを押します。
- メモリに保存されている原稿の送信を中止するには、メモリから削除します（→4-15ページ）。
- エラー送信レポートが印刷されます（→7-3ページ）。

■ 原稿台ガラスを使っている場合

1 **ストップ/リセット**ボタンを押します。

- 送信が中止されます。
- エラー送信レポートが印刷されます（→7-3ページ）。

手動送信を中止する

「原稿台ガラスを使っている場合」を参照してください。

リダイヤルする

リダイヤルには、手動リダイヤルと自動リダイヤルの2つの方法があります。ここでは、これら2つの方法について説明します。

手動リダイヤル

リダイヤル/ポーズボタンを押して、最後にテンキーでダイヤルしたファクス番号にダイヤルします（自動リダイヤルの設定に関わらず、自動的にファクス番号を呼び出します）。

手動リダイヤルを中止する

手動リダイヤルを中止するには、**ストップ/リセット**ボタンを押します。

自動リダイヤル

送信先が話し中などでファクスを送信できなかった場合は、自動的に2回*までリダイヤルします。次のリダイヤルまでの間隔は2分*です。
リダイヤルの回数と間隔は、「自動リダイヤル（ｼﾞﾄﾞｳ ﾘﾀﾞｲﾔﾙ）」で変更できます。また、自動リダイヤルしないように設定することもできます（→9-6ページ）。
リダイヤルしてもファクスを送信できなかった場合は、送信は中止され、エラー送信レポートが印刷されます（→7-3ページ）。
＊ 工場出荷時の設定



- 自動リダイヤルは、MultiPASS Suiteから設定することもできます（→「MultiPASS Suiteソフトウェアガイド」）。

リダイヤル待機中は、LCDディスプレイに「ｼﾞﾄﾞｳ ﾘﾀﾞｲﾔﾙ」と「ｳｹﾂｹ ﾊﾞﾝｺﾞｳ」が交互に表示されます。

自動リダイヤルを中止する



- リダイヤル待機中に送信を中止するには、メモリに保存されている原稿を削除してください（→4-15ページ）。

1 リダイヤルが始まるまで待ちます。

例：
```
2001 12/03        15:30
ﾖﾋﾞﾀﾞｼﾁｭｳ
```

例：
```
2001 12/03        15:30
              0337582111
```

2 **ストップ/リセット**ボタンを押します。

- 中止を確認するメッセージが表示されます。

```
ﾂｳｼﾝｦ ﾁｭｳｼ ｼﾏｽｶ?
ﾊｲ=(＊)      ｲｲｴ=(#)
```

3 ＊ボタンを押します。

- 送信を続けるときは、**#**ボタンを押します。
- エラー送信レポートが印刷されます（→7-3ページ）。

複数の送信先に一度に送信する（同報送信）

同じファクスを複数の送信先に一度に送信できます。次のダイヤル方法を組み合わせて、最大113件まで一度に送信できます。

- ワンタッチダイヤル：12件まで
- 短縮ダイヤル：100件まで
- 通常のダイヤル（テンキーでダイヤルする）：1件

送信先は、どのような順で入力してもかまいません。



- 同じ複数の送信先にたびたびファクスを送信する場合は、グループとして登録しておくと便利です。1つのグループダイヤルには、最大111件まで登録できます（→3-7ページ）。

1 **ファクス**ボタンを押して、ファクスモードにします。

例：
```
2001 12/03        15:00
ジ ド ウ         ヒョウジ ュン
```

2 原稿台ガラスまたはADFに、原稿をセットします（→「ユーザーズガイド」）。

例：
```
メモリ シヨウ リョウ
                    0%
```
（現在のメモリ使用量が表示されます）

```
ゲ ンコウ ガ  アリマス
```
（読みこみの準備ができました）

- 原稿台ガラスにセットしたときは、メッセージは表示されません。
- カラーで送信するには、**カラー/白黒**ボタンを押して､ランプを点灯させます（→4-1ページ）。
- 解像度と読み取り濃度を設定するには、4-2ページを参照してください。

3 送信先のファクス番号をダイヤルします。113件までダイヤルできます。

ワンタッチダイヤル

ワンタッチダイヤルボタンを押します。

例：
```
TEL=     022 265 9000
 03 キヤノン ハンバ イ センダ イ
```

短縮ダイヤル

短縮ボタンを押し、2桁の短縮ダイヤル番号を押します。

例：
```
TEL=      075 241 9000
*02 キヤノン ハンバ イ キョウト
```

通常のダイヤル

テンキーでファクス番号をダイヤルして、**セット**ボタンを押します。

例：
```
TEL=         0337582111
```



- 送信先を間違えて指定したときは、◀ボタンを押し続けて削除します。
- 送信先を入力してから5秒以内に次の送信先を入力してください。また、10秒以内にすべての送信先を入力してください。この時間を超えてしまうと、送信先を入力している途中でも自動的に原稿の読みこみが始まります。「ダ イヤル タイム アウト」で、自動的に読みこみが始まらないように設定することもできます（→9-6ページ）。
- ◀ボタンまたは▶ボタンを押すと、指定した送信先がLCDディスプレイに表示されます。

4 **スタート**ボタンを押します。

- 原稿の読みこみが始まります。
- 「ﾀﾞｲﾔﾙ ﾀｲﾑ ｱｳﾄ」を「ｽﾙ」に設定しているときは、**スタート**ボタンを押さなくても、しばらくすると自動的に原稿の読みこみが始まります（→9-6ページ）。
- ワンタッチダイヤル、短縮ダイヤル、通常のダイヤルの順に送信されます。
- 送信を中止するには、**ストップ/リセット**ボタンを押して、✱ボタンを押します。3の操作でダイヤルしたすべての送信先への送信が中止されます（1件だけを中止することはできません）。マルチ通信結果レポートが印刷されます。





- 話し中のときは、他の送信先へ先に送信し、その後で話し中だったファクス番号に自動的にリダイヤルします。
- 原稿の読みこみ中にメモリがいっぱいになると、「ﾒﾓﾘｶﾞ ｲｯﾊﾟｲﾃﾞｽ」と表示されます。この場合は、残りの原稿を取り除いて、**リカバリ**ボタンを押してください。ADFに残った原稿が自動的に排紙されます。送信できなかった原稿は、いくつかに分けて送信し直してください。
- カラーに対応していないファクス機器にカラー原稿を送信したときや、「ｼﾛｸﾛﾓｰﾄﾞﾃﾞ ﾔﾘﾅｵｼ」と表示されたときは、4-1ページを参照してください。

時刻を指定して送信する（タイマー送信）

時刻を指定してファクスを送信できます。これを、タイマー送信といいます。この機能を使うと、長距離電話の安い深夜に送信したりすることができます。



- タイマー送信は、MultiPASS Suiteからのみ設定できます（→「MultiPASS Suiteソフトウェアガイド」）。
- タイマー送信をするときは、本機をパソコンに接続し、両方の電源を入れてください。
- タイマー送信が設定されている間も、他の機能を使うことができます。

メモリに保存されているファクス



- メモリに何も保存されていないときに、「メモリ　ショウカイ」を選んで**セット**ボタンを押すと、スタンバイモードに戻ります。

メモリに保存されているファクスの一覧を印刷する

メモリに保存されているファクスの一覧を印刷できます。送受信したファクスの受付番号も印刷されます。

1 **メニュー**ボタンを押します。

2 ◀ボタンまたは▶ボタンを押して、「メモリ　ショウカイ」を選びます。

例：
```
メニュー
  2.メモリ　ショウカイ
```

3 **セット**ボタンを2回押します。

```
メモリ　ショウカイ
  1.ゲ゛ンコウ　リスト
```

```
レホ゜ート　シュツリョク　チュウ
```

- 原稿リストが印刷されます。



- 「レホ゜ート／リスト」（メニュー）から「ゲ゛ンコウ　リスト」を選んで印刷することもできます（→9-3ページ）。
- 受付番号を指定して、メモリに保存されているファクスを印刷したり削除したりできます（→4-14、4-15ページ）。

2001 12/03　17:33　FAX 03 3758 2111　　キヤノン　ホンシャ　　001

****
***　原稿リスト　***
****

受付番号	通信モード	相手先	枚数	受付時刻
0046	送信	[* 02] キヤノン　ハンバイ　キョウト	3	12/03 16:30
0047	送信	[03] キヤノン　ハンバイ　センダイ	2	12/03 16:55
0048	同報送信	[01] キヤノン　ハンバイ [* 01] キヤノン　ハンバイ　モリオカ	1	12/03 17:15
0049	同報送信	[10] キヤノン　グループ　A	1	12/03 17:31

4
ファクスを送信する

メモリに保存されているファクスを印刷する

1 **メニュー**ボタンを押します。

2 ◀ボタンまたは▶ボタンを押して、「メモリ ショウカイ」を選びます。

例：
```
メニュー
  2.メモリ ショウカイ
```

3 **セット**ボタンを押します。

```
メモリ ショウカイ
  1.ゲ゛ンコウ リスト
```

4 ◀ボタンまたは▶ボタンを押して、「ゲ゛ンコウ プ゜リント」を選びます。

```
メモリ ショウカイ
  2.ゲ゛ンコウ プ゜リント
```

5 **セット**ボタンを押します。

例：
```
ゲ゛ンコウ プ゜リント
ウケツケ バ゛ンゴ゛ウ        5014
```



6 ◀ボタンまたは▶ボタンを押して、印刷するファクスの受付番号（「ウケツケ バ゛ンゴ゛ウ」）を選びます。

例：
```
ゲ゛ンコウ プ゜リント
ウケツケ バ゛ンゴ゛ウ        5015
```



- LCDディスプレイに表示されているファクス情報の意味については、4-15ページを参照してください。

7 **セット**ボタンを押します。

```
サイショノ ページ゛ ダ゛ケ?
ハイ=(*)     イイエ=(#)
```

8 最初のページだけを印刷するときは*ボタン、すべてのページを印刷するときは#ボタンを押します。

- ファクスが印刷されます。

9 続けて他のファクスを印刷するときは、6以降の操作を繰り返します。
終了するときは、**ストップ/リセット**ボタンを押して、スタンバイモードに戻ります。

メモリに保存されているファクスを削除する

1 **メニュー**ボタンを押します。

2 ◀ボタンまたは▶ボタンを押して、「メモリ ショウカイ」を選びます。

例：
```
メニュー
  2.メモリ ショウカイ
```

3 **セット**ボタンを押します。

```
メモリ ショウカイ
  1.ゲ゛ンコウ リスト
```

4 ◀ボタンまたは▶ボタンを押して、「ゲ゛ンコウ クリア」を選びます。

```
メモリ ショウカイ
  3.ゲ゛ンコウ クリア
```

5 **セット**ボタンを押します。

例：
```
ゲ゛ンコウ クリア
ウケツケ バ゛ンゴ゛ウ        5014
```

6 ◀ボタンまたは▶ボタンを押して、削除するファクスの受付番号（「ウケツケ バ゛ンゴ゛ウ」）を選びます。

例：
```
ゲ゛ンコウ クリア
ウケツケ バ゛ンゴ゛ウ        5015
```



- LCDディスプレイに表示されているファクス情報の意味については、「メモリに保存されているファクスを確認する」を参照してください。

7 **セット**ボタンを押します。

- 削除を確認するメッセージが表示されます。

```
クリアシテ イイデスカ?
ハイ= (*)       イイエ= (#)
```

8 *ボタンを押します。

- ファクスが削除されます。
- ファクスを削除しないときは、#ボタンを押します。

9 続けて他のファクスを削除するときは、6以降の操作を繰り返します。
終了するときは、**ストップ/リセット**ボタンを押して、スタンバイモードに戻ります。

メモリに保存されているファクスを確認する

メモリに保存されているファクスを印刷したり削除したりする前に、ファクスの情報を確認できます。

例：
```
ゲ゛ンコウ プ゛リント
ウケツケ バ゛ンゴ゛ウ      *5011
```

- 受付番号（「ウケツケ バ゛ンゴ゛ウ」）は、次の内容を表しています。
  - 0001~4999: 送信ファクス
  - 5001~9999: 受信ファクス
- 受付番号（「ウケツケ バ゛ンゴ゛ウ」）の前のマークは、次の内容を表しています。
  - （マークなし）: 白黒原稿
  - *: カラー原稿
  - #: 送信中、印刷中の白黒原稿
  - &: 送信中、印刷中のカラー原稿
- さらに詳細（送信先のファクス番号など）を確認するには、*ボタンまたは#ボタンを押します。



- 受付番号（「ウケツケ バ゛ンゴ゛ウ」）は、原稿リストで確認できます（→4-13ページ）。

第5章

ファクスを受信する

本機は、送られてきたファクスがカラーか白黒かを検知し、それに合わせてファクスを印刷します。カラーファクスが送られてくると、自動的にカラー受信します。

ファクス受信モードの種類

本機には、次のようなファクス受信モードがあります。次の表を参照し、用途や本機を使用する条件に合わせて、適切な受信モードを設定してください（→「かんたんスタートガイド」）。
受信モードは、スタンバイモードのときに変更できます。

受信モード	主な用途	動作	必要条件
ジドウ ジュシン モード*	ファクス	自動的にファクスだけ受信します。電話のときは、通信を切断します。	ファクス専用の電話回線がある
シュドウ ジュシン モード	電話	ファクスのときも電話のときも呼び出し音が鳴ります。ファクスは、手動で受信します。	本機に子電話が接続されている（→「かんたんスタートガイド」）
ルスTEL セツゾク モード	ファクス/電話	ファクスのときは自動的に受信し、電話のときは留守番電話が応答します。	本機に留守番電話が接続されている（→「かんたんスタートガイド」）
FAX/TEL キリカエ	ファクス/電話	自動的にファクスと電話を切り替えます。ファクスのときは自動的に受信し、電話のときは呼び出し音が鳴ります。詳細を設定するには、5-2ページを参照してください。	本機に子電話が接続されている（→「かんたんスタートガイド」）
MultiPASS Suite	PC ファクス	ファクスをパソコンで受信します。	MultiPASS Suiteがインストールされているパソコンに、本機を接続している（→「かんたんスタートガイド」）

*工場出荷時の設定

現在設定されている受信モードは、ファクスモードのスタンバイ表示で確認できます。受信モードは、LCDディスプレイの左下に表示されます。

例：
```
2001 12/03       15:30
ジドウ          ヒョウジュン
```

FAX/TEL切り替えモードの詳細設定

受信モードを「FAX/TEL切り替えモード（FAX/TEL キリカエ）」に設定している場合は、相手からの呼び出しに対して、本機がどのように対応するかを設定できます。設定できる内容は次のとおりです。

- 着信が、ファクスか電話かを本機が判断するための時間を設定します（「呼び出し開始時間（ヨビ゛ダ゛シ カイシ ジ゛カン）」）。
- 電話のときに、呼び出し音を鳴らす時間を設定します（「呼び出し時間（ヨビ゛ダ゛シ ジ゛カン）」）。
- 呼び出し時間で設定した時間が経過した後、ファクスを受信するかどうかを設定します（「呼び出し後の動作（ヨビ゛ダ゛シゴ゛ノ ドウサ）」）。



- 上記の内容は、MultiPASS Suiteから設定することもできます（→「MultiPASS Suiteソフトウェアガイド」）。

■ FAX/TEL切り替えモードの詳細設定の流れ

相手からの呼び出し

電話 ／ ファクス 手動送信のとき ／ ファクス 自動送信のとき

この時点から呼び出し側に電話料金がかかる。

呼び出し音を鳴らさずに着信する。

「呼び出し開始時間（ヨビダシ カイシ ジカン）」（工場出荷時設定：8秒）

送信側からのファクス呼び出し音を待つ。（8秒間）

ファクス呼び出し音が送られてくると・・・

ファクスを自動的に受信する。

（ファクス呼び出し音を検知すると、自動的にファクスを受信する）

ファクス呼び出し音が送られてこないと・・・

「呼び出し時間（ヨビダシ ジカン）」（工場出荷時設定：17秒）

呼び出し音を鳴らし始める。

受話器を取って相手と話す。

受話器を取らないと・・・（17秒以内）

「呼び出し後の動作（ヨビダシゴノ ドウサ）」が次のどちらに設定されているか：受信（工場出荷時の設定）または終了

「終了（シュウリョウ）」

自動的に電話を切る。

「受信（ジュシン）」（工場出荷時の設定）

ファクス呼び出し音を送らないファクス機器もあるが、呼び出し後の動作を「受信（ジュシン）」に設定しておくと、自動的にファクスを受信する。ファクスが送られてこないときは、約40秒後に電話を切る。

1 LCDディスプレイに「FAX/TEL」と表示されているか確認します。

例：
```
2001 12/03      15:30
FAX/TEL       ヒョウジ゛ュン
```

- FAX/TEL切り替えモードに設定する方法については、「かんたんスタートガイド」を参照してください。

2 **メニュー**ボタンを押します。

3 ◀ボタンまたは▶ボタンを押して、「ファクス シヨウ セッテイ」を選びます。

例：
```
メニュー
 5.ファクス シヨウ セッテイ
```

4 **セット**ボタンを押します。

```
ファクス シヨウ セッテイ
 1.キホン セッテイ
```

5 ◀ボタンまたは▶ボタンを押して、「ジ゛ュシン キノウ セッテイ」を選びます。

```
ファクス シヨウ セッテイ
 4.ジ゛ュシン キノウ セッテイ
```

6 **セット**ボタンを押します。

```
ジ゛ュシン キノウ セッテイ
 1.ECMジ゛ュシン
```

7 ◀ボタンまたは▶ボタンを押して、「FAX/TEL キリカエ」を選びます。

```
ジ゛ュシン キノウ セッテイ
 2.FAX/TEL キリカエ
```

8 **セット**ボタンを2回押します。

```
FAX/TEL キリカエ
 1.ヨビ゛ダ゛シ カイシ ジ゛カン
```

例：
```
ヨビ゛ダ゛シ カイシ ジ゛カン
                 8ビ゛ョウ
```

9 ◀ボタンまたは▶ボタンを押して、着信してから呼び出し音を鳴らし始めるまでの時間を設定します。

例：
```
ヨビ゛ダ゛シ カイシ ジ゛カン
                 9ビ゛ョウ
```

- 0～30秒の間で設定できます。
- 工場出荷時の設定は8秒です。

10 **セット**ボタンを2回押します。

```
FAX/TEL キリカエ
 2.ヨビ゛ダ゛シ ジ゛カン
```

例：
```
ヨビ゛ダ゛シ ジ゛カン
                17ビ゛ョウ
```

11 ◀ボタンまたは▶ボタンを押して、呼び出し音を鳴らす時間を設定します。

例：
```
ヨビ゛ダ゛シ ジ゛カン
                30ビ゛ョウ
```

- 10～300秒の間で設定できます。
- 工場出荷時の設定は17秒です。

12 **セット**ボタンを2回押します。

```
FAX/TEL キリカエ
 3.ヨビ゛ダ゛シゴ゛ノ ド゛ウサ
```

例：
```
ヨビ゛ダ゛シゴ゛ノ ド゛ウサ
               ジ゛ュシン
```

13 ◀ボタンまたは▶ボタンを押して、「ジ゛ュシン」または「シュウリョウ」を選びます。

例：
```
ヨビ゛ダ゛シゴ゛ノ ド゛ウサ
              シュウリョウ
```

- 11の操作で設定した時間内に受話器を取らなかった場合の対応です。
- 「ジ゛ュシン」を選ぶとファクスを受信し、「シュウリョウ」を選ぶと、電話を切ります。
- 工場出荷時の設定は「ジ゛ュシン」です。

14 **セット**ボタンを押します。

```
ジ゛ュシン キノウ セッテイ
 3.チャクシン ヨビ゛ダ゛シ
```

15 **ストップ/リセット**ボタンを押して、スタンバイモードに戻ります。

手動受信のしかた

「手動受信モード（シュドウ ジュシン モード）」に設定すると、ファクスを手動受信するだけでなく電話を受けることもできます。ファクスのときは、本機で受信することも、本機に接続されている子電話から受信することもできます（これを、リモート受信といいます）。


メモ

- 手動受信するには、本機に子電話を接続してください（→「かんたんスタートガイド」）。
- ADFおよび原稿台ガラスに原稿がセットされていないことを確認してください。
- 「リモート ジュシン」設定が「スル」に設定されていることを確認してください（→9-7ページ）。

1 LCDディスプレイに「シュドウ」と表示されているか確認します。

例：

```
2001 12/03      15:30
シュドウ        ヒョウジュン
```

- 手動受信モードに設定する方法については、「かんたんスタートガイド」を参照してください。

2 本機に子電話が接続されているか確認します。

3 呼び出し音が鳴ったら、受話器を取ります。

4

■ 相手の声が聞こえたとき

相手と会話をします。会話の後でファクスを受信するには、相手にファクス機器のスタートボタンを押してもらいます。
「ピー」という音が聞こえたら、**スタート**ボタンを押します。ファクスの受信が始まるので、受話器を戻してください。

■ 「ピー」という音が聞こえたとき、または何も音がしないとき

相手がファクスを送信しようとしています。
子電話が本機の近くにある場合は、本機の**スタート**ボタンを押します。ファクスの受信が始まるので、受話器を戻してください。


メモ

- 記録紙トレイに記録用紙がないときは、LCDディスプレイに「キロクシガ アリマセン」と表示されます。記録紙トレイに記録用紙をセットし（→「かんたんスタートガイド」）、**リカバリ**ボタンを押してください。
- 子電話が本機から離れた場所にある場合は、子電話で「25」（リモート受信IDの番号）をダイヤルしてください。
- リモート受信IDの番号（00～99）は、変更できます。また、リモート受信をしないように設定することもできます（→「リモート受信（リモート ジュシン）」9-7ページ）。
- 本機に留守番電話を接続している場合、留守番電話を操作するための暗証番号がリモート受信IDと同じ番号になっていることがあります。この場合は、リモート受信IDの番号を変更してください（→「リモート受信ID（リモート ジュシン ID）」9-7ページ）。
- 受話器がきちんと戻っていないと、警告音が鳴ります。受話器をきちんと戻してください。また、「オフフック アラーム」で警告音が鳴らないように設定することもできます（→9-4ページ）。

MultiPASS Suiteで受信する

パソコンに電源が入っているときは、受信したファクスをパソコンに送るように設定できます。MultiPASS Suiteから設定します（→「MultiPASS Suiteソフトウェアガイド」）。

パソコンの電源が入っていないとき

受信したファクスをパソコンに送るようにMultiPASS Suiteで設定している場合、パソコンに電源が入っていないときは、受信したファクスは本機のメモリに保存されます。パソコンの電源を入れると、自動的にパソコンに送られます。
メモリに保存されたファクスをパソコンに送らずに印刷するには、次の操作を行ってください。



- メモリに何も保存されていないときに、「メモリ　ショウカイ」を選んで**セット**ボタンを押すと、スタンバイモードに戻ります。

1 **メニュー**ボタンを押します。

2 ◀ボタンまたは▶ボタンを押して、「メモリ ショウカイ」を選びます。

例：
```
メニュー
  2.メモリ　ショウカイ
```

3 **セット**ボタンを押します。

```
メモリ　ショウカイ
  1.ゲ゛ンコウ　リスト
```



4 ◀ボタンまたは▶ボタンを押して、「ファイル プ゜リント」を選びます。

```
メモリ　ショウカイ
  4.ファイル　プリント
```

5 **セット**ボタンを押します。

- メモリ内のすべての受信ファクスが印刷されます。



- 印刷されたファクスは、メモリから削除されます。パソコンに送ることはできません。

設定中や印刷中のファクス受信

本機は複数の処理を同時にできるので、他の機能を使っている間も、ファクスや電話を受けることができます。
他の機能を使っている間に受信したファクスは、メモリに保存されます。
その機能を使い終えると、受信したファクスが自動的に印刷されます。

メモリでの受信

ファクス受信中にトラブルが発生した場合、印刷できなかったファクスは自動的にメモリに保存され、「ﾀﾞｲｺｳ ｼﾞｭｼﾝ ｼﾏｼﾀ」などのメッセージが表示されます。メッセージの意味と対処方法については、8-2ページを参照してください。



- 本機のメモリには、約270ページ*の原稿を保存できます。
- 印刷されたファクスは、メモリから削除されます。
- メモリがいっぱいになると、残りのページは受信できません。相手に連絡して、もう一度送信してもらってください。

＊キヤノンFAX標準チャートNo.1（標準モード）使用時

受信を中止する

すべてのファクスを受信する前に受信を中止できます。

1 **ストップ/リセット**ボタンを押します。

- 中止を確認するメッセージが表示されます。

```
ﾂｳｼﾝｦ ﾁｭｳｼ ｼﾏｽｶ?
ﾊｲ=(✳)      ｲｲｴ=(#)
```



2 ✳ ボタンを押します。

例：
```
2001 12/03      15:30
ｽﾄｯﾌﾟ ｷｰｶﾞ ｵｻﾚﾏｼﾀ
```

例：
```
2001 12/03      15:30
ｳｹﾂｹ ﾊﾞﾝｺﾞｳ      5010
```

- 受信を続けるときは、**#**ボタンを押します。

第6章

その他の送受信方法

その他の送受信方法でファクスを使いこなす

ここでは、外線へのダイヤル、海外へのダイヤル、プッシュホンサービスへのダイヤルについて説明します。

外線へのダイヤル

本機をPBX（構内電話交換機）またはその他の電話交換システムに接続している場合は、まず外線呼び出し番号をダイヤルし、その後通常のファクス/電話番号をダイヤルしてください。

海外へのダイヤル

海外へダイヤルするとき、または海外の番号を登録するときは、番号の間や最後にポーズを入れてください。ポーズの長さや位置は、国によって異なります。

1 **ファクス**ボタンを押して、ファクスモードにします。

例：
```
2001 12/03      15:00
ジドウ         ヒョウジュン
```

2 原稿台ガラスまたはADFに、原稿をセットします。

例：
```
メモリ シヨウ リョウ
                  0%
```
（現在のメモリ使用量が表示されます）

```
ゲンコウ ガ アリマス
```
（読みこみの準備ができました）

- 原稿台ガラスにセットしたときは、メッセージは表示されません。
- カラーで送信するには、**カラー/白黒**ボタンを押して、ランプを点灯させます（→4-1ページ）。
- 解像度と読み取り濃度を設定するには、4-2ページを参照してください。

3 テンキーで、国際電話呼び出し番号をダイヤルします。

例：
```
TEL=              00
```

- 間違った番号をダイヤルしたときは、**ストップ/リセット**ボタンを押して、正しい番号をダイヤルし直します。
- 国際電話呼び出し番号については、地域の電話会社にお問い合わせください。

4 必要に応じて**リダイヤル/ポーズ**ボタンを押して、ポーズを入力します。

例：
```
TEL=             00P
```

- 番号の間に入れるポーズ（p）の長さは2秒です。
- 待ち時間を長くするには、複数のポーズを入れます。また、ポーズ1つ分の長さを変更することもできます（→「ポーズ時間セット（ポーズ ジカン セット）」9-5ページ）。

5 テンキーで、送信先の国番号、エリアコード、ファクス/電話番号をダイヤルします。

例：
```
TEL=        00p81123
```

- 間違った番号をダイヤルしたときは、**ストップ/リセット**ボタンを押して、3の操作からやり直します。

6 必要に応じて**リダイヤル/ポーズ**ボタンを押して、ポーズを入力します。

例：
```
TEL=       00p81123P
```

- 番号の最後のポーズ（P）の長さは10秒です。変更することはできません。

7 **スタート**ボタンを押します。

- 原稿の読みこみが始まります。
- 送信を中止するには、**ストップ/リセット**ボタンを押して、✳ボタンを押します（→4-9ページ）。



- よく使う海外の番号は、ワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルに登録しておくと便利です（→3-2、3-4ページ）。

ダイヤル回線でプッシュホンサービスを使う

銀行、航空券の予約、ホテルの予約などのプッシュホンサービスをダイヤル回線で利用するときは、プッシュ信号を使います。本機をダイヤル回線に接続している場合に、一時的にプッシュ信号にしてダイヤルすることができます。

1 **ファクス**ボタンを押して、ファクスモードにします。

例：
```
2001 12/03       15:00
ジ ド ウ          ヒョウジ ュン
```

2 **オンフック**ボタンを押します。

- **オンフック**ボタンを押す代わりに、受話器を取っても操作できます。

3 テンキーで、サービス先の電話番号をダイヤルします。

例：
```
TEL=            7654321
```

- ダイヤル回線に接続されます。

4 メッセージが聞こえたら、**✳（トーン）**ボタンを押して、プッシュ（トーン）信号に切り替えます。

例：
```
TEL=           7654321T
```

- **✳（トーン）**ボタンを押すと、「T」と表示されます。
- 2の操作で**オンフック**ボタンを押したときに、相手と話をする場合は、受話器を取ってください。

5 メッセージにしたがって、テンキーで番号を入力します。

例：
```
TEL=        7654321T✳34
```

- **✳（トーン）**ボタンを押した後に入力した番号は、プッシュ信号でダイヤルされます。

6 サービスの利用が終わったら、**オンフック**ボタンを押して、電話を切ります。

- 受話器を取ったときは、受話器を戻します。
- 電話を切ると、プッシュ信号が解除されます。

Fネット、Arcstar InternetFAXに接続する

Fネットを利用する

Fネット（ファクシミリ通信網）は、NTTコミュニケーションズが提供する有料サービスです。
Fネットをご利用になるには、NTTコミュニケーションズと加入契約が必要です。詳しくは、NTTコミュニケーションズにお問い合わせください。

Fネットでできること	内容
一斉同報通信	1回の操作で、同じ原稿を最大10,000か所まで同時に送信できます。夜間割引もあります。
短縮ダイヤル	最大10,000件の短縮ダイヤルを利用できます。
再コール	送信先が話し中などで送信できなかったとき、2分間隔で5回まで自動的にリダイヤルします。リダイヤルの回数は、変更できます。
不達通知	再コールしても送信先が話し中などで送信できなかったとき、そのことを送信側に通知します。
親展通信	暗証番号を使って登録されている親展文書を受信できます（受信側は無鳴動自動受信の契約が必要です）。
閉域接続	サークル仲間など、特定の相手との通信ネットワークを作ることができます。
ファクシミリボックス	ファクス使用中のときでも、Fネットを通して送られてくるファクスであれば、一時的に預かります。

- 「G3サービス 16Hz」で契約してください。本機は、1300Hzのサービスには対応していません。
- スピードダイヤルに登録するときは、「161」または「162」と入力した後に、**リダイヤル/ポーズ**ボタンを押して、ポーズを入力してください。

Arcstar InternetFAXを利用する

Arcstar InternetFAXは、NTTコミュニケーションズが提供する有料サービスです。Arcstar InternetFAXをご利用になるには、NTTコミュニケーションズと加入契約が必要です。詳しくは、NTTコミュニケーションズにお問い合わせください。

Arcstar InternetFAX（FAX接続型サービス）でできること	内容
複数の送信先への送信（電話番号指定同報）	指定した電話番号やUID（専用線接続型、インターネット接続型サービス利用者のユーザID）に、ファクスまたはEメールを同報送信できます（最大10件まで）。
グループへの送信（宛先リスト同報）	送信先をあらかじめグループとして登録しておくと、そのグループに一度に送信できます（最大1000件まで）。
時刻を指定しての送信（時刻指定配送）	時刻を指定して、ファクスやEメールを送信できます。
送り直し（再送信）	送信できなかった場合に、かんたんな操作で再送信できます。
フリーダイヤル（着信課金機能）	Arcstar InternetFAX版フリーダイヤルです。通信料が着信側に課金されます。
漢字の宛先を付ける（漢字宛名付与）	原稿の最初のページ、メール本文の先頭に、送信先の名前などを漢字で入れます。
添付ファイルでの送信（OCR機能）	所定のマークシートに記入してファクスを送信すると、メールの添付ファイルに変換され、送信されます。画像も付けて送信できます。

- 「FAX接続型サービス」で契約してください。
- スピードダイヤルに登録するときは、「003501」と入力した後に、**リダイヤル/ポーズ**ボタンを押して、ポーズを入力してください。

第7章

レポートやリストの印刷

レポートやリストについて

本機で印刷できるレポートやリストには、次のような種類があります。詳細については、該当するページを参照してください。

レポート名またはリスト名	説明	参照
ユーザデータリスト	現在の設定と発信元情報のリストです。	2-5ページ 9-3ページ
通信管理レポート	送受信したファクスの履歴です。 20通信ごとに自動的に印刷するかどうかを設定できます。 また、手動で印刷することもできます。	7-2ページ 9-2ページ 9-5ページ
送信結果レポート	ファクス送信後に印刷されます。 印刷するかどうかを設定できます。また、エラーが発生したときにだけ印刷するように設定することもできます。 送信結果レポートの下に原稿の最初のページを印刷して、送信したファクスの内容がわかるように設定することもできます。	7-3ページ 9-5ページ
受信結果レポート	ファクス受信後に印刷されます。 印刷するかどうかを設定できます。また、エラーが発生したときにだけ印刷するように設定することもできます。	7-4ページ 9-5ページ
マルチ通信 結果レポート	同報通信後に印刷されます。	7-4ページ
原稿リスト	現在メモリに保存されている原稿のリストです。	4-13ページ 9-2ページ 9-3ページ
メモリクリアリスト	電源を入れ直すと自動的に印刷されます。メモリから削除された原稿のリストです。	8-8ページ
ワンタッチダイヤル電話番号リスト	ワンタッチダイヤルに登録されている番号と名前のリストです。	3-9ページ 9-2ページ
短縮ダイヤル電話番号リスト	短縮ダイヤルに登録されている番号と名前のリストです。	3-9ページ 9-3ページ
グループダイヤル 電話番号リスト	ワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルに登録されているグループダイヤルのリストです。	3-9ページ 9-3ページ

通信管理レポート

通信管理レポートは、工場出荷時は、20回通信するごとに自動的に印刷されるように設定されています。手動で通信管理レポートを印刷するには、次の操作を行ってください。



- 通信管理レポートを自動的に印刷しないときは、「通信管理レポート（ツウシン　カンリ　レポ゜ート）」を「シナイ」に設定してください（→9-5ページ）。

1 **メニュー**ボタンを押します。

2 ◀ボタンまたは▶ボタンを押して、「レポ゜ート/リスト」を選びます。

例：

```
メニュー
 3．レポ゜ート/リスト
```

3 **セット**ボタンを2回押します。

```
レポ゜ート/リスト
 1．ツウシン　カンリ　レポ゜ート
```

```
レポ゜ート　シュツリョク　チュウ
```

- 通信管理レポートが印刷されます。

通信管理レポートは、日付/時刻の順に印刷されます。

2001 12/03 15:34 FAX 03 3758 2111　　キヤノン　ホンシャ　　001

****
***　通信管理レポート　***
****

開始時刻	相手の電話番号	相手先略称	番号	通信モード		枚数	通信結果
∗12/03 13:10	022 265 9000	キヤノン　ハンバイ　センダイ	5001	自動受信	ECM	1	OK　00'33
∗12/03 13:28	022 265 9000	キヤノン　ハンバイ　センダイ	5002	自動受信	ECM	1	OK　00'24
∗12/03 14:01	0196 46 9000	キヤノン　ハンバイ　モリオカ	0001	同報送信	ECM	1	OK　00'35
∗12/03 14:08	098 867 9000	キヤノン　ハンバイ　ナハ	0001	同報送信	ECM	2	OK　00'56
∗12/03 14:10	03 3455 9000	キヤノン　ハンバイ	5003	自動受信	ECM	1	OK　00'41
∗12/03 14:11	098 867 9000	キヤノン　ハンバイ　ナハ	5004	自動受信	ECM	2	OK　00'24
∗12/03 14:34	011 728 9000	キヤノン　ハンバイ　サッポロ	0002	送信	カラー	1	OK　00'25
∗12/03 14:42	011 728 9000	キヤノン　ハンバイ　サッポロ	0003	送信	カラー	2	OK　00'48
12/03 14:55	0196 46 9000	キヤノン　ハンバイ　モリオカ	5005	自動受信	ECM	1	OK　00'41
12/03 15:05	098 867 9000	キヤノン　ハンバイ　ナハ	0004	送信	カラー		NG　00'21
							0　STOP
12/03 15:26	06 6441 9000	キヤノン　ハンバイ　オオサカ	0005	送信	カラー	0	NG　00'01
							0　#018

以前の通信管理レポートに印刷されたことを示します。

受付番号

通信モード

カラーで通信されたことを示します。

ECMで通信されたことを示します。

エラーが発生したページ

エラーコード（→ 8-1ページ）

通信中に**ストップ/リセット**ボタンが押されたことを示します。

通信にかかった時間

送信結果レポート

送信結果レポートは、工場出荷時は、エラーが発生したときにだけ印刷されるように設定されています。設定を変更するときは、「送信結果レポート（ソウシン　ケッカ　レポ゜ート）」（→9-5ページ）を参照してください。
設定によって、次のような送信レポートまたはエラー送信レポートが印刷されます。

マルチ通信結果レポート

同報通信をした後は、次のようなマルチ通信結果レポートが印刷されます。

```
2001 12/03  18:14  FAX 03 3758 2111          キヤノン  ホンシャ                    001

                    ********************************
                    ***     マルチ通信結果レポート     ***
                    ********************************

受付番号                 0015
枚数                       1
未通信相手先             -----
終了相手先               [     02]   011 728 9000      キヤノン ハンバイ サッポロ
                         [*   02]   075 241 9000      キヤノン ハンバイ キョウト
エラー相手先             -----
```

受信結果レポート

受信結果レポートは、工場出荷時は、エラーが発生しても印刷されないように設定されています。設定を変更するときは、「受信結果レポート（ジ゛ュシン ケッカ レポ゜ート）」（→9-5ページ）を参照してください。

設定によって、次のような受信結果レポートが印刷されます。

```
2001 12/03  15:36  FAX 03 3758 2111          キヤノン  ホンシャ                    001

                    ***************************
                    ***     受信結果レポート     ***
                    ***************************

次の受信は正しく終了しました

受付番号                 5004  ：カラー  受信
相手の電話番号                 022 265 9000
相手先略称               キヤノン ハンバイ センダイ
開始時刻                 12/03   15:35
通信時間                 00'16
枚数                       2
通信結果                 OK
```

第8章

困ったときには

メッセージとその内容

本機が動作中のときや、エラーが発生したときは、LCDディスプレイに次のようなメッセージが表示されます。

ここでは、ファクス機能に関するメッセージについて説明します。その他のメッセージについては、「ユーザーズガイド」を参照してください。


メモ

• エラーコードは、通信管理レポートに印刷されます（→7-2ページ）。

メッセージ（エラーコード）	原因	対処方法
ＥＣＭジ゛ュシン	ECMモードでファクスを受信中です。	ECMモードで受信すると、通常の受信より時間がかかることがあります。速く受信したいときや、電話回線に問題がないときは、ECMを「シナイ」に設定してください（→9-6ページ）。
ＥＣＭソウシン	ECMモードでファクスを送信中です。	ECMモードで送信すると、通常の送信より時間がかかることがあります。速く送信したいときや、電話回線に問題がないときは、ECMを「シナイ」にしてください（→9-5ページ）。
アイテ　オウトウナシ (#005)	送信先のファクス機器が応答しません。	番号が正しかったか確認してください。しばらく待ってから、送信し直してください。
アイテサキ　キロクシ゛ナシ (#012)	送信先のファクス機器に記録用紙がないか、メモリがいっぱいです。	送信先に連絡して、記録用紙を補充するか、メモリを空けてもらってください。
ウケツケ　ハ゛ンコ゛ウ　ｎｎｎｎ	送受信したファクスには、番号（nnnn）が付けられます。	必要に応じて、この番号を書き留めてください。
ウケツケ　ハ゛ンコ゛ウ ヨミコミ　チュウ メモリガ゛　イッハ゜イテ゛ス シハ゛ラク　オマチクダ゛サイ	他のファクスを送信中で、メモリがいっぱいです。	現在の送信が終わりメモリが空くと、送信されます。
キロクシサイズ゛ヘンコウ (FAXヨウ)	記録用紙サイズが、A4、レター、リーガルサイズ以外に設定されています。	用紙選択でサイズをA4、レター、リーガルサイズに設定してください。
ゲ゛ンコウガ゛　ナガ゛スギ゛マス (#003)	1枚の原稿の長さが1mを超えています。	原稿の長さを1m以内にして、送信し直してください。
	原稿がADF内につまっています。	ADF内の原稿を取り除いてください（→リファレンスガイド）。

8
困ったときには

メッセージ（エラーコード）	原因	対処方法
コノ タンシュクハ ツカエマセン	手動送信で、グループが登録されている短縮ダイヤルを入力しました。	通常ダイヤルをしてください。または、ファクス/電話番号が1つだけ登録されている短縮ダイヤルを入力してください。
コノ ワンタッチハ ツカエマセン	手動送信で、グループが登録されているワンタッチダイヤルを入力しました。	通常ダイヤルをしてください。または、ファクス/電話番号が1つだけ登録されているワンタッチダイヤルを入力してください。
ジ゛ト゛ウ リダ゛イヤル	ファクスを送信しようとしたとき、送信先が話し中または応答しなかったので、リダイヤルの待機中です。	自動的にリダイヤルするまで待ちます。自動リダイヤルを中止するときは、リダイヤルの呼び出しが始まったら、**ストップ/リセット**ボタンを押し、*ボタンを押します。（→4-10ページ）。
シロクロモート゛デ゛ ヤリナオシ（#085）	カラーに対応していないファクス機器にカラーファクスを送信しようとしました。	白黒モードで送信し直してください（→4-1ページ）。または、「カラーダイレクト送信（カラー ダ゛イレクト ソウシン）」を「スル」に設定してください（→9-6ページ）。
ストッフ゜キーガ゛ オサレマシタ	**ストップ/リセット**ボタンを押したので、送受信が中止されました。	必要に応じて、送受信をやり直してください。
ダ゛イコウ ジ゛ュシン シマシタ	記録用紙がない、インクがない、または紙づまりなどの理由により受信したファクスを印刷できないので、メモリに保存しました。	記録紙トレイに記録用紙をセットするか（→「かんたんスタートガイド」）、インクタンクを交換するか（→「ユーザーズガイド」）、つまった紙を取り除いてください（→「ユーザーズガイド」）。
デ゛ンワバ゛ンゴ゛ウ ミトウロク（#022）	ワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルにファクス/電話番号が登録されていません。	ワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルにファクス/電話番号を登録してください（→3-2、3-4ページ）。
ハナシチュウ デ゛シタ（#018）	送信先が話し中です。	しばらく待って、送信し直してください。
	ダイヤルしたファクス番号が間違っています。	ファクス番号を確認して、もう一度ダイヤルしてください。
	送信先のファクス機器が故障しています。	送信先に連絡して、ファクス機器を点検してもらってください。
	送信先のファクス機器がG3に対応していません。	送信先に連絡して、G3対応のファクス機器で送受信してもらってください。
	本機のプッシュ回線/ダイヤル回線の設定が間違っています。	お使いの電話回線の種類（プッシュ回線/ダイヤル回線）に合わせて設定してください（→2-6ページ）。
	送信先のファクス機器が（自動リダイヤル後）55秒以内に応答しませんでした。	送信先に連絡して、ファクス機器を点検してもらってください。または、手動送信をしてみてください（→4-8ページ）。海外へ送信するときは、番号にポーズを入れてください（→6-1ページ）。

メッセージ（エラーコード）	原因	対処方法
ﾌｧｲﾙ ｼﾞｭｼﾝ ｼﾏｼﾀ	パソコンの電源が入っていないので、受信したファクスをメモリに保存しました。	メモリに保存されたファクスをパソコンに送るか、印刷してください（→4-14、5-5ページ）。
	MultiPASSステータスモニタが起動していません（Windows95/98/Me）。	Windows®のデスクトップで、［スタート］メニューの［プログラム］から［Canon MultiPASS Suite］－［MultiPASSステータスモニタ］をクリックして、起動してください。
ﾒﾓﾘ ｼﾖｳ ﾘｮｳ nn %	メモリの使用量が表示されます。	もっとメモリを空けたいときは、メモリ内の原稿が送信されるまで待ってください。または、メモリ内の不要な原稿を印刷するか削除してください（→4-14、4-15ページ）。

ファクスが使えない

ファクスを送信できない

ファクスを送信できない

電話回線の種類（プッシュ回線またはダイヤル回線）が正しく設定されていない

- 電話回線の種類を正しく設定してください（→2-6ページ）。

原稿が正しくセットされていない

- 一度原稿を取り出し、複数ページの原稿の場合はきちんと端をそろえて、原稿台ガラスまたはADFに正しくセットしてください（→「ユーザーズガイド」）。
- フィーダカバーが閉じているか確認してください。

指定したワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルにファクス番号が登録されていない

- ワンタッチダイヤルまたは短縮ダイヤルが正しく登録されているか確認してください（→「第3章 スピードダイヤルの登録」）。

間違った番号にダイヤルした

- 番号を確認して、もう一度ダイヤルし直してください。

送信先のファクス機器に記録用紙がない

- 送信先に連絡して、記録用紙をセットしてもらってください。

カラーに対応していないファクス機器にカラーで送信しようとした

- カラーに対応していないファクス機器にカラーで送信しようとすると、LCDディスプレイに「ｼﾛｸﾛ ﾓｰﾄﾞ ﾃﾞ ﾔﾘﾅｵｼ」と表示され、送信できません。白黒で送信し直してください。
  また、「カラーダイレクト送信（ｶﾗｰ ﾀﾞｲﾚｸﾄ ｿｳｼﾝ）」（→9-6ページ）を「ｽﾙ」に設定しておくと、送信先のファクス機器がカラーファクスに対応していない場合は、自動的に白黒に変換して送信されるので、エラーを発生させることなく送信できます。

メモリから他の原稿を送信中

- 他の原稿の送信が終了するまで待ってください。

送信中にエラーが発生した

- 通信管理レポートを印刷して、エラーの内容を確認してください（→7-2ページ）。

電話回線に問題がある

- **オンフック**ボタンを押すか、本機に接続されている子電話の受話器を取って、発信音が聞こえるか確認してください。聞こえないときは、地域の電話会社に連絡してください。

送信先のファクス機器がG3に対応していない

- 送信先のファクス機器がG3に対応しているか確認してください。

送信したファクスが汚れている

送信先のファクス機器が原因の可能性がある

- 本機でコピーをしてみてください（→「ユーザーズガイド」）。きれいにコピーできれば、送信先のファクス機器が原因と思われます。コピーが汚れていたときは、本機を清掃してください（→「ユーザーズガイド」）。

原稿が正しくセットされていない

- 一度原稿を取り出し、複数ページの原稿の場合はきちんと端をそろえて、原稿台ガラス、またはADFに正しくセットし直してください（→「ユーザーズガイド」）。

ECMモードで送信できない

送信先のファクス機器がECMに対応していない

- 送信先のファクス機器がECMに対応していないときは、原稿はエラーをチェックしない標準モードで送信されます。

ECMが無効になっている

- 「ECM送信（ECMｿｳｼﾝ）」を「ｽﾙ」に設定してください（→9-5ページ）。

送信時にたびたびエラーが発生する

電話回線や接続の状態がよくない

- 送信開始速度の設定を遅くしてみてください（→「送信開始速度（ｿｳｼﾝ ｶｲｼ ｿｸﾄﾞ）」9-6ページ）。

ファクスを受信できない

自動でファクスを受信できない

自動受信に設定されていない

- ファクスを自動的に受信するには、受信モードを自動受信モード、留守TEL接続モードまたはFAX/TEL切り替えモードに設定している必要があります。留守TEL接続モードに設定しているときは、本機に留守番電話が接続されていることと、応答メッセージが正しく録音されていることを確認してください（→「かんたんスタートガイド」）。

メモリがいっぱいである

- メモリ内の原稿を印刷、または削除して（→4-14、4-15ページ）メモリを空けてから、もう一度送信してもらってください。

MultiPASS Suiteで受信している

- 「MultiPASS Suite ソフトウェアガイド」を参照してください。

受信中にエラーが発生した

- LCDディスプレイのエラーメッセージを確認してください（→8-1ページ）。
- 通信管理レポートを印刷して、エラーの内容を確認してください（→7-2ページ）。

モジュラージャックコードが正しく接続されていない

- モジュラージャックコードが正しく接続されているか確認してください（→「かんたんスタートガイド」）。

電話とファクスの受信が自動で切り替わらない

電話とファクスの受信が自動的に切り替わるように設定されていない

- 自動的に切り替えるには、受信モードを留守TEL接続モードまたはFAX/TEL切り替えモードに設定している必要があります。留守TEL接続モードに設定しているときは、本機に留守番電話が接続されていることと、応答メッセージが正しく録音されていることを確認してください（→「かんたんスタートガイド」）。

受信中にエラーが発生した

- LCDディスプレイのエラーメッセージを確認してください（→8-1ページ）。
- 通信管理レポートを印刷して、エラーの内容を確認してください（→7-2ページ）。

送信側のファクス機器が、CNG信号（ファクスであることを示す信号）を送れない

- CNG信号を送れないファクス機器があります。この場合、手動でファクスを受信してください（→5-4ページ）。

手動でファクスを受信できない

受話器を戻した後に、スタートボタンを押すか、またはリモートIDの番号をダイヤルしたので、電話が切れてしまった

- 受話器を戻す前に、**スタート**ボタンを押すか、リモートIDの番号をダイヤルしてください。これらの操作を行わずに受話器を戻すと、電話が切れてしまいます。

受信したファクスの画質が悪い

本機でサポートしていない記録用紙を使用している

- 使用できる記録用紙かどうか確認してください（→「ユーザーズガイド」）。

プリントヘッドのノズルが、目づまりしている

- フローチャートを参照し、必要に応じてプリントヘッドをクリーニングしてください（→「ユーザーズガイド」）。

送信側のファクス機器に原因がある

- ファクスの画質は、通常、送信側のファクス機器によって決まります。送信側に連絡して、原稿カバーや原稿台ガラスが汚れていないか確認してもらってください。

ECMが無効になっている

- 「ECM受信（ECMｼﾞｭｼﾝ）」を「ｽﾙ」に設定してください（→9-6ページ）。

受信したファクスがまったく印刷されない

プリントヘッド（BJカートリッジ）やインクタンクが、正しく取り付けられていない

- プリントヘッド（BJカートリッジ）とインクタンクが、正しく取り付けられているか確認してください（→「かんたんスタートガイド」）。
- プリントヘッド（BJカートリッジ）を取り付ける前に、プリントヘッド（BJカートリッジ）のオレンジ色の保護キャップを必ずはずしてください（→「かんたんスタートガイド」）。

プリントヘッドのノズルが、目づまりしている

- フローチャートを参照し、必要に応じてプリントヘッドをクリーニングしてください（→「ユーザーズガイド」）。

インクタンクの交換が必要である

- インクタンクに問題があるかを確認して、必要に応じてインクタンクを交換してください（→「ユーザーズガイド」）。

画像の印刷にしみがある、または整っていない

電話回線や接続の状態がよくない

- ECMモードで受信してみてください（→9-6ページ）。電話回線の状態がよくない場合は、もう一度送信してもらってください。

送信側のファクス機器に原因がある

- ファクスの画質は、通常、送信側のファクス機器によって決まります。送信側に連絡して、原稿カバーや原稿台ガラスが汚れていないか確認してもらってください。

ECMモードで受信できない

送信側のファクス機器がECMに対応していない

- 送信側のファクス機器がECMに対応していないときは、原稿はエラーをチェックしない標準モードで受信されます。

ECMが無効になっている

- 「ECM受信（ECMｼﾞｭｼﾝ）」を「ｽﾙ」に設定してください（→9-6ページ）。

受信時にたびたびエラーが発生する

電話回線や接続の状態がよくない

- 受信開始速度の設定を遅くしてみてください（→「受信開始速度（ｼﾞｭｼﾝ ｶｲｼ ｿｸﾄﾞ）」9-7ページ）。

送信側のファクス機器に原因がある

- 送信側に連絡して、ファクス機器が正しく動作しているか確認してもらってください。

電話が使えない

ダイヤルできない

モジュラージャックコードが正しく接続されていない

- モジュラージャックコードが正しく接続されているか確認してください（→「かんたんスタートガイド」）。

電源コードのコネクタとプラグが、本機の差し込み口と電源コンセントにしっかりと差しこまれていない

- 電源コードが本機と電源コンセントにしっかり差し込まれており、本機の電源が入っているか確認してください（→「かんたんスタートガイド」）。OAタップに接続しているときは、OAタップが電源コンセントに正しく接続され、OAタップの電源が入っているか確認してください。

電話回線の種類（プッシュ回線またはダイヤル回線）が正しく設定されていない

- 電話回線の種類を正しく設定してください（→2-6ページ）。

通話中に電話が切れてしまう

電源コードのコネクタとプラグが、本機の差し込み口と電源コンセントにしっかりと差しこまれていない

- 電源コードが本機と電源コンセントにしっかり差し込まれており、本機の電源が入っているか確認してください（→「かんたんスタートガイド」）。OAタップに接続しているときは、OAタップが電源コンセントに正しく接続され、OAタップの電源が入っているか確認してください。

予期せず電源が切れたとき

停電や誤って電源コードを電源コンセントから抜いてしまった場合でも、内蔵されている電池により、ユーザデータやスピードダイヤルの設定は保持されます。ただし、メモリに保存されていた原稿はすべて消去されます。

電源が切れると、本機は次のような状態になります。

- ファクスの送受信やコピーはできません。
- 本機に電話が接続されている場合、電話を受けることはできます。



- 電話をかけることができるかどうかは、お使いの電話機によって異なります。

電源を入れると、電源が切れたときにメモリに保存されていた原稿のリストが自動的に印刷されます。

2001 12/03 15:00 FAX 03 3758 2111　　キヤノン ホンシャ　　001

****
***　メモリクリアリスト　***
****

次の通信予約またはメモリはクリアされました

受付番号	通信モード	相手先	枚数	受付時刻
0023	送信	[* 02] キヤノン ハンバイ キョウト	3	12/03 14:40
0024	同報送信	[01] キヤノン ハンバイ [* 01] キヤノン ハンバイ モリオカ	1	12/03 14:45



- 記録紙サイズが、A4、LTR、LGL以外に設定されていた場合、メモリクリアリストは出力されません。
- 電源を入れたときにインクが切れていたり、記録紙トレイに記録用紙がセットされていないときは、LCDディスプレイに「CMYK インクカ゛ アリマセン」または「キロクシカ゛ アリマセン」と表示されます。このように表示されたら、**リカバリ**ボタンを押して、スタンバイモードに戻してください（この場合、インクを交換したり、記録用紙を補充してもメモリクリアリストは印刷されません）。

どうしても問題が解決しないとき

問題が発生して、この章の説明にしたがって対処してみても、どうしてもうまくいかないときは、お買い求めの販売店、またはキヤノンお客様相談センターに連絡してください。

キヤノンのサポートスタッフは、お客様にご満足いただける技術サポートを提供できるようにトレーニングされております。

お買い求めの販売店またはキヤノンお客様相談センターへのお問い合わせ方法については、「ユーザーズガイド」を参照してください。

第9章

メニューの設定

メニューの使い方

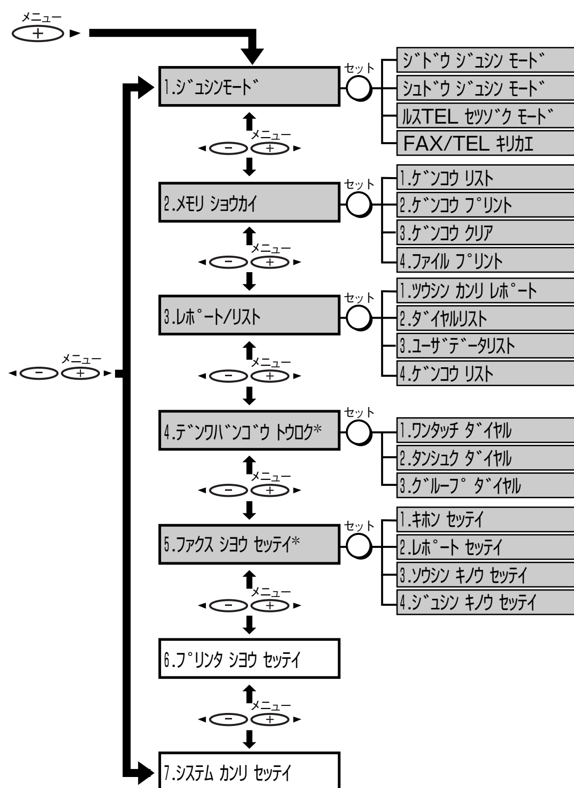
本機には、さまざまなメニュー項目があり、操作パネルからメニューを使って本機の機能を設定できます。
ご利用いただけるメニューとLCDディスプレイの表示は、お使いのモード（コピーモード、ファクスモード、スキャンモード）によって異なります。
ここでは、ファクスモードのメニューについて説明します。



- すべてのモードに共通のメニュー、およびコピーモードとスキャンモードのメニューについては、「ユーザーズガイド」を参照してください。
- 設定を変更する前に、ユーザデータリストを印刷すると、現在の設定を確認できます（→2-5ページ）。

メニューを表示する

ここでは、メニュー項目の表示方法を説明します。



左の図にしたがって、メニューを選んでください。

1 **メニュー**ボタンを押して、メニューを表示します。

2 ◀ボタンまたは▶ボタンを押して、変更するメニューを選びます。

3 **セット**ボタンを押します。

4 ◀ボタンまたは▶ボタンを押して、変更するサブメニューを選びます。

5 **セット**ボタンを押します。



- サブメニューについては、次ページ以降を参照してください。
- **ストップ/リセット**ボタンを押すと、メニューの設定が終了します。

[灰色の枠]のメニューについては、次ページ以降を参照してください。
[白い枠]のメニューや「応用コピー（オウヨウ　コピ゜ー）」メニューについては、「ユーザーズガイド」を参照してください。
*本機にパソコンを接続している場合は、MultiPASS Suiteから設定することもできます（→「MultiPASS Suiteソフトウェアガイド」）。

メニュー設定一覧（ファクスモード）



• 選択肢項目の太字は、工場出荷時の設定です。

「受信モード」メニュー（ｼﾞｭｼﾝﾓｰﾄﾞ）

項目（とサブ項目）	内容	選択肢
自動受信モード **ｼﾞﾄﾞｳ ｼﾞｭｼﾝ ﾓｰﾄﾞ** *	受信モードを「自動受信モード」に切り替えます（→5-1ページ）。	-
手動受信モード **ｼｭﾄﾞｳ ｼﾞｭｼﾝ ﾓｰﾄﾞ**	受信モードを「手動受信モード」に切り替えます（→5-1ページ）。	-
留守TEL接続モード **ﾙｽTEL ｾﾂｿﾞｸ ﾓｰﾄﾞ**	受信モードを「留守TEL接続モード」に切り替えます（→5-1ページ）。	-
FAX/TEL切り替え **FAX/TEL ｷﾘｶｴ**	受信モードを「FAX/TEL切り替えモード」に切り替えます（→5-1ページ）。	-

「メモリ照会」メニュー（ﾒﾓﾘ ｼｮｳｶｲ）

項目（とサブ項目）	内容	選択肢
1. 原稿リスト **1.ｹﾞﾝｺｳ ﾘｽﾄ**	メモリ内のファクスをリストにして印刷します（→4-13ページ）。	-
2. 原稿プリント **2.ｹﾞﾝｺｳ ﾌﾟﾘﾝﾄ**	メモリ内のファクスを印刷します（→4-14ページ）。	-
3. 原稿クリア **3.ｹﾞﾝｺｳ ｸﾘｱ**	メモリからファクスを削除します（→4-15ページ）。	-
4. ファイル プリント **4.ﾌｧｲﾙ ﾌﾟﾘﾝﾄ**	メモリ内のファクスを、パソコンに送らずに印刷します（→5-5ページ）。	-

「レポート/リスト」メニュー（ﾚﾎﾟｰﾄ/ﾘｽﾄ）

項目（とサブ項目）	内容	選択肢
1. 通信管理レポート **1.ﾂｳｼﾝ ｶﾝﾘ ﾚﾎﾟｰﾄ**	通信管理レポートを印刷します（→7-2ページ）。	-
2. ダイヤルリスト **2.ﾀﾞｲﾔﾙﾘｽﾄ**	スピードダイヤルに登録されているファクス/電話番号のリストを印刷します（→3-9ページ）。	-
1. ワンタッチ ダイヤルリスト **1.ﾜﾝﾀｯﾁ ﾀﾞｲﾔﾙﾘｽﾄ**	ワンタッチダイヤル電話番号リストを印刷します（→3-9ページ）。	-

*工場出荷時の設定

項目（とサブ項目）	内容	選択肢
ソート出力 **ソート シュツリョク**	リストの並び順を選びます。 ハイ ：送信先の名前の順に並びます。 イイエ ：ワンタッチダイヤルの番号順に並びます。	ハイ イイエ
2. 短縮ダイヤルリスト **2. タンシュク ダ゛イヤルリスト**	短縮ダイヤル電話番号リストを印刷します（→3-9ページ）。	-
ソート出力 **ソート シュツリョク**	リストの並び順を選びます。 ハイ ：送信先の名前の順に並びます。 イイエ ：短縮ダイヤルの番号順に並びます。	ハイ イイエ
3. グループダイヤルリスト **3. ク゛ループ゜ダ゛イヤルリスト**	グループダイヤル電話番号リストを印刷します（→3-9ページ）。	-
3. ユーザデータリスト **3. ユーザ゛デ゛ータリスト**	ユーザデータリストを印刷します（→2-5ページ）。	-
4. 原稿リスト **4. ゲ゛ンコウ リスト**	メモリ内のファクスをリストにして印刷します（→4-13ページ）。	-

「電話番号登録」メニュー（デ゛ンワバ゛ンゴ゛ウ トウロク）

項目（とサブ項目）	内容	選択肢
1. ワンタッチ ダイヤル **1. ワンタッチ ダ゛イヤル**	ワンタッチダイヤルを登録します（→3-2ページ）。	-
2. 短縮ダイヤル **2. タンシュク ダ゛イヤル**	短縮ダイヤルを登録します（→3-4ページ）。	-
3. グループ ダイヤル **3. ク゛ループ゜ ダ゛イヤル**	グループダイヤルを登録します（→3-7ページ）。	-

「ファクス仕様設定」メニュー（ファクス　シヨウ　セッテイ）

項目（とサブ項目）	内容	選択肢
1. 基本設定 **1．キホン　セッテイ**		
1. 日付/時刻セット **1．ヒヅ゛ケ/シ゛コク　セット**	現在の日付/時刻を設定します（→2-4ページ）。	-
2. 日付タイプ **2．ヒヅ゛ケ　タイプ゜**	LCDディスプレイ、または送信ファクスに印刷される日付の表示方法を選びます。	**YYYY MM/DD** MM/DD/YYYY DD/MM YYYY
3. ユーザTEL登録 **3．ユーザ゛　TEL　トウロク**	ファクス/電話番号を登録します（→2-4ページ）。	-
4. ユーザ略称登録 **4．ユーザ゛　リャクショウ　トウロク**	名前または会社名を登録します（→2-4ページ）。	-
5. 発信元記録 **5．ハッシンモト　キロク**	ファクスの各ページのいちばん上に送信者名などの情報を印刷するかどうかを選びます。	**ツケル** ツケナイ
1. 発信元記録位置 **1．ハッシンモト　キロク　イチ**	発信元情報を印刷する位置を選びます（画像領域の外または画像領域の中）。*	**ガ゛ゾ゛ウノ　ソトニ ツケル** ガ゛ゾ゛ウノ　ナカニ ツケル
2. 電話番号マーク **2．デ゛ンワバ゛ンゴ゛ウ マーク**	発信元情報のファクス/電話番号の前に付ける文字を選びます（→2-3ページ）。	**FAX** TEL
6. オフフックアラーム **6．オフフック　アラーム**	子電話の受話器がはずれているとき、警告音を鳴らすかどうかを選びます。	**ナラス** ナラサナイ
7. 音量調整 **7．オンリョウ　チョウセイ**	呼び出し音、通信音の音量を調整します。	-
1. 呼び出し音量 **1．ヨビ゛ダ゛シ　オンリョウ**	FAX/TEL切り替えモードのときの、子電話の呼び出し音の音量を調整します。	1/**2**/3
2. 通信音量 **2．ツウシン　オンリョウ**	回線モニタ（ダイヤル中、フック中の音）の音量を調整します。	0/1/**2**/3
8. 呼び出し音音質 **8．ヨビ゛ダ゛シオン　オンシツ**	FAX/TEL切り替えモードのときの、子電話の呼び出し音の音質を選びます。	**タカイ** フツウ

* 発信元情報を画像領域の外に付けることができるのは、白黒送信したときだけです。カラー送信すると、画像の中に付きます。

項目（とサブ項目）	内容	選択肢
9. 回線種類選択 **9. カイセン シュルイ センタク**	本機を接続している電話回線に合わせて選びます（→2-6ページ）。	**ダ゛イヤル カイセン** プ゜ッシュ カイセン
ダイヤルスピード選択 **ダ゛イヤルスピ゜ード゛ センタク**	「ダ゛イヤル カイセン」のとき、ダイヤルスピードを選びます。	**20PPS** 10PPS
2. レポート設定 **2. レポ゜ート セッテイ**		
1. 送信結果レポート **1. ソウシン ケッカ レポ゜ート**	送信結果レポートについて設定します（→7-3ページ）。 エラー ジ゛ ニ プ゜リント スル： エラーが発生したときだけ印刷します。 プ゜リント スル： 送信するたびに印刷します。 プ゜リント シナイ： 印刷しません。	**エラー ジ゛ ニ プ゜リント スル** プ゜リント スル プ゜リント シナイ
送信画像 **ソウシン ガ゛ゾ゛ウ**	「エラー ジ゛ ニ プ゜リント スル」または「プ゜リント スル」のとき、送信ファクスの最初のページをレポートの下に印刷するかどうかを選びます（白黒原稿のときのみ）。	**ツケル** ツケナイ
2. 受信結果レポート **2. ジ゛ュシン ケッカ レポ゜ート**	受信結果レポートについて設定します（→7-4ページ）。 エラー ジ゛ ニ プ゜リント スル： エラーが発生したときだけ印刷します。 プ゜リント スル： 受信するたびに印刷します。 プ゜リント シナイ： 印刷しません。	**プ゜リント シナイ** エラー ジ゛ ニ プ゜リント スル プ゜リント スル
3. 通信管理レポート **3. ツウシン カンリ レポ゜ート**	20通信ごとに自動的に通信管理レポートを印刷するかどうかを選びます（→7-2ページ）。	**ジ゛ド゛ウプ゜リント スル** ジ゛ド゛ウプ゜リント シナイ
3. 送信機能設定 **3. ソウシン キノウ セッテイ**		
1. ECM送信 **1. ECMソウシン**	ECM送信するかどうかを設定します。	**スル** シナイ
2. ポーズ時間セット **2. ポ゜ーズ゛ ジ゛カン セット**	**リダイヤル/ポーズ**ボタンを1回押して指定するポーズひとつ分の長さを指定します。	**2**ビ゛ョウ (1～15)

9 メニューの設定

項目(とサブ項目)	内容	選択肢
3. 自動リダイヤル **3. ジドウ リダイヤル**	送信先が話し中だったときに、自動的にリダイヤルするかどうかを選びます(→4-10ページ)。	**スル** シナイ
1. リダイヤル回数 **1. リダイヤル カイスウ**	何回までリダイヤルするかを指定します。	**2カイ** (1~15)
2. リダイヤル間隔 **2. リダイヤル カンカク**	ダイヤルしてから次にリダイヤルするまでの間隔を指定します。	**2フン** (2~99)
4. ダイヤルタイムアウト **4. ダイヤル タイム アウト**	スピードダイヤルを使って送信先の番号を入力したとき、原稿の読みこみを自動的に開始するかどうかを選びます。	**スル** シナイ
5. 送信開始速度 **5. ソウシン カイシ ソクド**	ファクスの送信スピードを選びます。	**33600bps** 14400bps 9600bps 7200bps 4800bps 2400bps
6. カラーダイレクト送信 **6. カラー ダイレクト ソウシン**	ADFを使ってカラーで送信する場合、送信先のファクス機器がカラーファクスに対応していないときは、自動的に白黒に変換して送信します(→4-1ページ)。 シナイ: カラー対応ではないファクス機器へは、送信しません。 スル: カラー対応ではないファクス機器へは、白黒で送信します。	**シナイ** スル
4. 受信機能設定 **4. ジュシン キノウ セッテイ**		
1. ECM受信 **1. ECMジュシン**	ECM受信するかどうか設定します。	**スル** シナイ
2. FAX/TEL切り替え **2. FAX/TEL キリカエ**	「FAX/TEL切り替えモード(FAX/TEL キリカエ)」に設定しているときは、詳細を設定できます(→5-2ページ)。	-
1. 呼び出し開始時間 **1. ヨビダシ カイシ ジカン**	着信がファクスか電話かを本機が判断するための時間を指定します。	**8ビョウ** (0~30)
2. 呼び出し時間 **2. ヨビダシ ジカン**	電話のとき、何秒呼び出し音を鳴らすかを指定します。	**17ビョウ** (10~300)

項目（とサブ項目）	内容	選択肢
3. 呼び出し後の動作 **3. ヨビ゛ダ゛シゴ゛ノ ド゛ウサ**	設定した呼び出し時間が経過した後、ファクスを受信するかどうかを選びます。	**ジ゛ュシン** シュウリョウ
3. 着信呼び出し **3. チャクシン ヨビ゛ダ゛シ**	自動受信モードまたはFAX/TEL切り替えモードの場合、電話がかかってきたときに、子電話の呼び出し音を鳴らすかどうかを選びます。	**シナイ** スル
呼び出し回数 **ヨビ゛ダ゛シ カイスウ**	「スル」のとき、何回呼び出し音を鳴らすかを指定します。	**2カイ** (1～99)
4. 自動受信切り替え **4. ジ゛ド゛ウ ジ゛ュシン キリカエ**	手動受信モードの場合、一定の時間呼び出し音を鳴らした後、自動的にファクスを受信するかどうかを選びます。*	**シナイ** スル
呼び出し時間 **ヨビ゛ダ゛シ ジ゛カン**	「スル」のとき、何秒呼び出し音を鳴らすかを指定します。	**15ビ゛ョウ** (1～99)
5. リモート受信 **5. リモート ジ゛ュシン**	リモート受信ができるようにするかどうかを選びます（→5-4ページ）。	**スル** シナイ
リモート受信ID **リモート ジ゛ュシン ID**	「スル」のとき、リモート受信IDを変更できます。	25 (00～99)
6. 画像縮小 **6. ガ゛ゾ゛ウ シュクショウ**	記録用紙サイズに収まるように、受信ファクスを縮小するかどうかを選びます。	**スル** シナイ
縮小方向選択 **シュクショウ ホウコウ センタク**	「スル」のとき、縮小する方向を選びます。	**タテ ノミ** タテ ヨコ トモ
7. 受信開始速度 **7. ジ゛ュシン カイシ ソクド゛**	ファクスの受信スピードを選びます。	**33600bps** 14400bps 9600bps 7200bps 4800bps 2400bps

* 「自動受信切り替え（ジ゛ド゛ウ ジ゛ュシン キリカエ）」を「スル」に設定しても、本機に子電話が接続されていないと呼び出し音は鳴りません。

仕　様

外観、仕様などは改良のため、予告なく変更することがあります。

ファクス仕様

■ 適用回線
加入電話回線（PSTN）

■ 直流抵抗値
約240 Ω

■ 互換性
G3

■ データ圧縮方式
MH、MR、MMR、JBIG、JPEG

■ 通信速度
33600/14400/9600/7200/4800/2400 bps
自動フォールバック

■ 送信速度
- 白黒：33.6Kbpsで約3秒/ページ*、ECM-MMR、メモリ送信
  *キヤノンFAX標準チャートNo.1､標準モード使用時
- カラー：33.6Kbpsで約1分/ページ*、ECM-JPEG、メモリ送信
  *キヤノンカラーファクステストシート使用時

■ スキャン画像処理
- GENESIS および“GENESISスムージング”

■ 画像メモリ
最高約270ページ*
*キヤノンFAX標準チャートNo.1、標準モード使用時

■ ファクス読み取り速度
5.3秒/ページ*
*キヤノンFAX標準チャートNo.1、標準モード使用時

■ ファクス解像度
- 白黒：
  白黒標準：8 pels/mm × 3.85本/mm
  白黒ファイン：8 pels/mm × 7.7本/mm
  白黒写真：8 pels/mm × 7.7本/mm
- カラー：
  カラー標準：200 × 200 dpi
  カラーファイン：200 × 200 dpi

索　引

た

ち

つ

て

と

消耗品・オプション製品のご購入ご相談窓口

消耗品・オプション製品はお買い上げ頂いた販売店、またはお近くのキヤノン製品取り扱い店にてお買い求めください。ご不明な場合は、下記お客様相談センターまでご相談ください。

修理サービスご相談窓口

修理のご相談は、お買い上げ頂いた販売店にご相談ください。
ご不明な場合は、下記お客様相談センターまでご相談ください。



キヤノン株式会社・キヤノン販売株式会社

キヤノン販売お客様相談センター
（全国共通番号）



0570-01-9000

全国64か所にある最寄りのアクセスポイントまでの通話料金でご利用になれます。
お電話が繋がりましたら音声ガイダンスに従ってMultiPASSシリーズの該当番号 33 をお話しください。
引き続き音声ガイダンスに従ってお話しください。音声認識後、商品担当者に繋がります。
[受付時間]　〈平日〉9:00～12:00/13:00～17:00（土・日・祝日・1/1～3を除く）

※携帯電話･PHSをご使用の方は 043-211-9631 をご利用ください。
※音声応答システム･受付時間･該当番号は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。
※電話の回線状態等によっては、正しく音声認識できない場合があります。その場合でもオペレーターにおつなぎいたしますので、そのまま電話を切らずにお待ちください。

■アクセスポイント
札幌・旭川・帯広・函館・青森・秋田・盛岡・山形・庄内・仙台・福島・郡山・水戸・つくば・大宮・千葉・東京・立川・横浜・厚木・新潟・長岡・長野・松本・前橋・宇都宮・甲府・沼津・静岡・浜松・豊橋・名古屋・岡崎・岐阜・津・金沢・富山・和歌山・福井・京都・大津・大阪・神戸・姫路・岡山・広島・福山・山口・鳥取・松江・高松・徳島・高知・松山・北九州・福岡・久留米・大分・佐賀・長崎・熊本・宮崎・鹿児島・沖縄

キヤノン販売株式会社　〒108-8011　東京都港区三田3-11-28

100V

HT1-1128-000-V.1.0　XX2001A

PRINTED IN THAILAND